

令和5年度

# 学校教育計画



## 枚方市立山之上小学校

〒573-0047 枚方市山之上1丁目32番1号

電話 050-7102-9068

FAX 072-841-0369

E-mail [yamanoue-e00@city.hirakata.ed.jp](mailto:yamanoue-e00@city.hirakata.ed.jp)



## 令和5年度本校の教育基本方針

教育の営みは、「人間の内面的価値に関する文化的営み」であることから、教育を实践する上では、教育の「自主性」「自律性」「自由」が尊重され、保障されなければならない。

教育の本質を具現化していく上での法規的な根本原則は、国連憲章ならびに「子どもの権利条約」、そして、日本国憲法にある。本校の教育も「それらの教育の本質」にもとづいて方針を打ち立てる必要がある。

とりわけ、日本国憲法においては、前文ならびに、教育関連の次の条文が非常に重要で大きな意味をなすものとなっている。

13条「国民の幸福追求権」、19条「思想・良心・内心の自由」、23条「学問の自由」、26条「教育の権利」などである。

これらの原理がベースとなって、教育基本法をはじめとする教育関係諸法令・条例および各種法令がつけられている。

我々は、上記の原理原則、理念を踏まえ、よりよい社会の形成者として子ども達の人格の完成を目指し、ひとり一人の可能性を最大限に引き出す教育を実現しなくてはならない。

ここにその理念を実現するための、本校の教育目標を設定したい。

今、教育現場では、新学習指導要領の意義を踏まえ、幅広い知識と柔軟な思考力に基づき新しい知や価値を創造する能力の育成へつながる場となることが求められている。

同時に、わが国の伝統と文化を尊重しつつ公共互

助の精神や、豊かな人間性を備え、たくましく生きる子どもの健全な育成も求められている。

そこで、本校の全教職員、児童が同じベクトルを向きながら、より具体的な教育実践の方向性をより明確にしなが、取り組んでいくことができるよう、昨年度から「わかる、できる、考える」子という学校教育目標へと発展的に改定した。

副題として、「希求する児童の姿」を、「知・徳・体」の生きる力を育てることとし、「知」＝「確かな学力」、「徳」＝「豊かな心」、「体」＝「健やかな体」を目指していく。

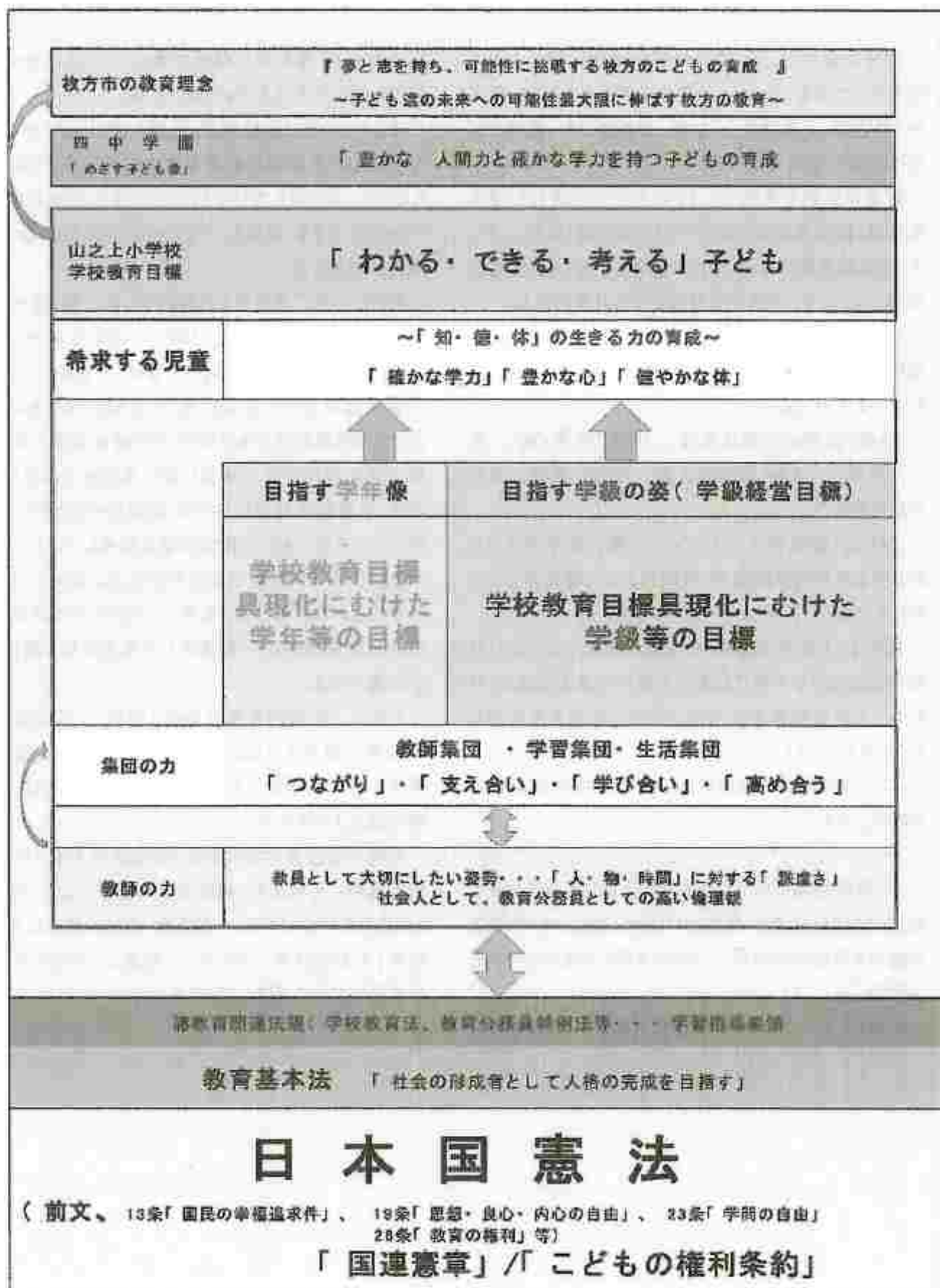
学校教育目標の実現に向け、文部科学省をはじめとして大阪府教育庁および枚方市教育委員会の方針、枚方市学校圏の管理運営に関する指針を道標としなが、学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していく。

そして、自らの資質や指導力の向上に努め、「すべての子どもたちが生き生きと学ぶことができる学校づくり」に全教職員が一致協力して全力で取り組むことが必要である。

さらに、「学校教育自己診断」結果、学校運営協議会委員の提言をはじめ、全国学力・学習状況調査結果等をふまえ、学校や児童の実態や課題に正対した教育活動をより進めていく。

同時に保護者や地域住民の皆様の学校に対する期待を真摯に受け止め、教職員との協働による「地域とともにある学校づくり」、「保護者・地域の信託に応える教育」を全教職員一体となって推進し、学校教育目標の実現に向けて邁進していきたい。

R5 学校教育目標 系統一覧図



## 【求める具体的な姿】

### 【1】感謝の気持ちと笑顔があふれる学校

### 【2】自ら考えて行動し、できた、わかった!の体験を通じて、自己有用感を高める。

- 児童に求めること: ①自ら考えて行動し、できた、わかった!の体験を通じて、自己有用感を高める。  
②知・徳・体の生きる力をつける。

※ 学校教育目標の「できる」の具体例・・・別表

- 教職員に求めること ①高い人権感覚・倫理観・危機管理意識、社会人としての模範意識  
②常に研究と修養に励み、授業力を磨き、教育理念の実現に向けた教育実践力を高める。  
③児童生徒に対する深い教育愛と教育理念実現への追求。  
④広い視野で、物事の本質を見る眼を養う。

◎ 教員としての最も大切にしたい姿勢の一つ・・・「謙虚さ」 (人に対して、物に対して、時間に対して)。

◎ 教員として発揮したい4つの力

- ①直観力:(見抜く力) + ②直感力:(ピンとくる力) + ③共感力:(信頼関係づくり)  
④イメージ力:(行動・言動のもとを知り、次の予測を立てる力)

### 【3】集団力の発揮

◎ ・教師集団+学習集団+生活集団として

「つながり」「支え合い」「学び合い」「高め合う」・・・4つの結びつき

◎ 学校組織として

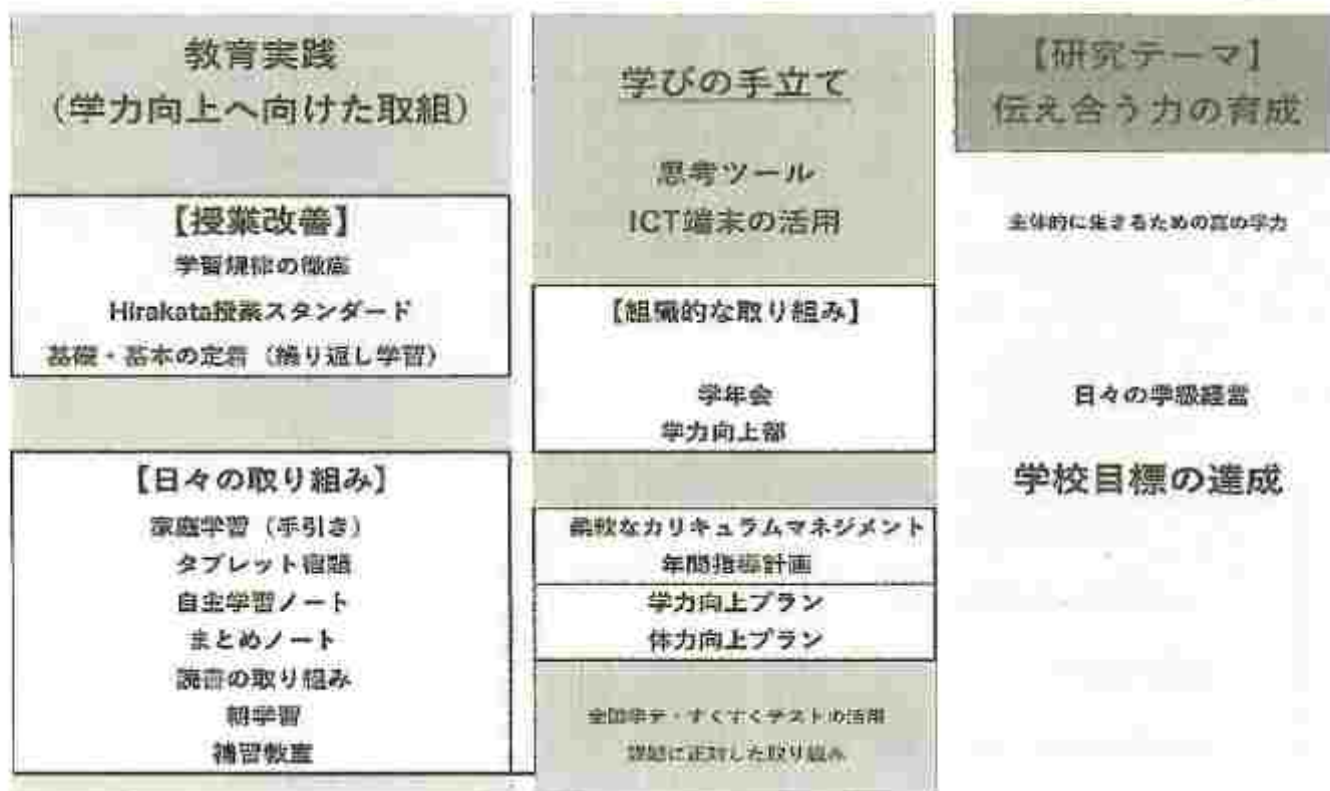
☆「学年を縦糸、部会を横糸とし、主任・主担者を中心に学校が組織的に機能させていく」

そのために、 報告・連絡・相談(組織として、チームとして)

教職員間のコミュニケーション

凡事徹底 高いアンテナ・広い視野

## 【 山之上小学校 学校経営 相関図 】



## 「わかる・できる・考える」子ども

～「知・徳・体」の生きる力（豊かな学力・豊かな心・健やかな体）を育てる～

子どもの視点と教師の視点を両方から

目次別	わかる	できる	考える
知	授業の内容がわかる	話をきちんと聞く	課題や問題を自ら探求する
	授業規律、学習規律を理解する	自分の思いを相手に伝える	自分の取で、答えを出す。
	自然科学的なきまり、定理、法則	時間を守る	グループで交流しよう
	社会科学的なきまり、定理、法則	分かりやすい授業、授業改善	安全に行動する方法、手立て
	新しく学ぶことを理解する。	さまざまな教科について、'できるようになる'が目標	子どものつまずき、悩み、子ども目線からの支援
徳	人、相手の気持ちがわかる	あいさつができる	ルールを守ることを考える。
	善悪の区別や判断	学校の決まりを守る	相手の気持ち
	人とのかかわり方、場に応じたあいさつ	学習の決まりを守る	自分中心でない物事の味方考え方
体	自分の体のことを知る	丈夫な体で、健康な毎日過ごす	健康な生活について考える
	体力について知る。	体育の技ができるようになる	心の健康について考える
	健康な体について知る。	仲間と切磋琢磨して体力	体力向上に向けた取り組みについて考える

### 教科「できる」の具体例 ※別表

国語 漢字テスト（中・高学年）80点以上（90%以上）  
リズム漢字  
複学学年の漢字読み100% 書き90%以上  
古文暗唱  
茶詩  
百人一首 100首  
ことわざ 50  
読書50冊/年  
社会 都道府県 県庁所在地名  
大阪府市町村名  
日本の地形 山、川、平野、半島、島  
歴史上の人物50人  
牧方八景（川等の地名）  
日本国憲法前文暗唱  
世界の国の名前と首都 50=国

算数 100マス返し算繰り上がり 3分以内  
100マス引き算繰り下がり 4分以内  
100マスかけ算 九九 3分  
あまりのあるわり算100 5分以内  
コンパスで円が書ける  
分度器で正確に角度を測る  
は・じ・き（長さ・・）の計算ができる。

理科 草・花・水の名前  
星、惑星、星座、21の1等星  
酸素、水素、二酸化炭素  
天気の仕事  
体育 総上がり 100%（6年卒業時）  
縄跳び20とび 10回  
一人脚立（支えあり）  
盤り脚 上まで  
20mシャトルラン 100回（6年次）  
音楽 リコーダーのサミング

図工 彫刻力  
家庭 針の糸通し  
ミシンの使い方  
3大食料  
外国語 英単語  
かんたんな挨拶  
複数回回の挨拶

山之上小学校では、〇〇ができるようになった  
（指導法、授業改善への取組）

↓  
自己肯定感、自己有用感の涵養  
↓  
生きる力の育成  
↓  
めざす子どもの姿、目指す学校像

学校教育目標  
「わかる・できる・考える」子ども

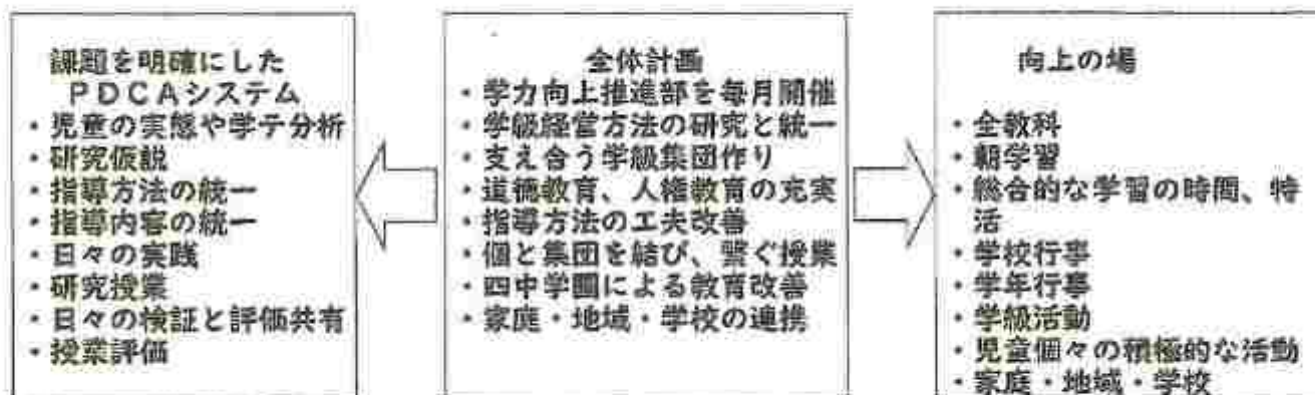


**基本方針** 児童が互いにつながり合い、支え合い、高め合う学習・生活集団の形成

・児童が互いにつながり合い、支え合い、高め合う学習集団・生活集団の形成に向けて全教職員が一体となって取り組み、児童の確かな学力、豊かな人権感覚、自己教育力感情を育む。そのために思考ツールや ICT 機器などのツールの活用を通して、全教科・領域を通じてよりよい学習形態や指導方法の工夫改善を図り、全児童の学力の底上げを図る。同時に、児童の社会性、人間性を育み、全児童が暖かい思いやりを持って規律正しく生活する学校づくりに全力で取り組む。

その具現化のために学力向上推進部、生活力向上推進部、健康・体力向上推進部の3研究推進部会が統一テーマを持ち、全教職員が一丸となって本校の課題解決に向けて全力で取り組み、研究を推進する。

**研究推進システム**

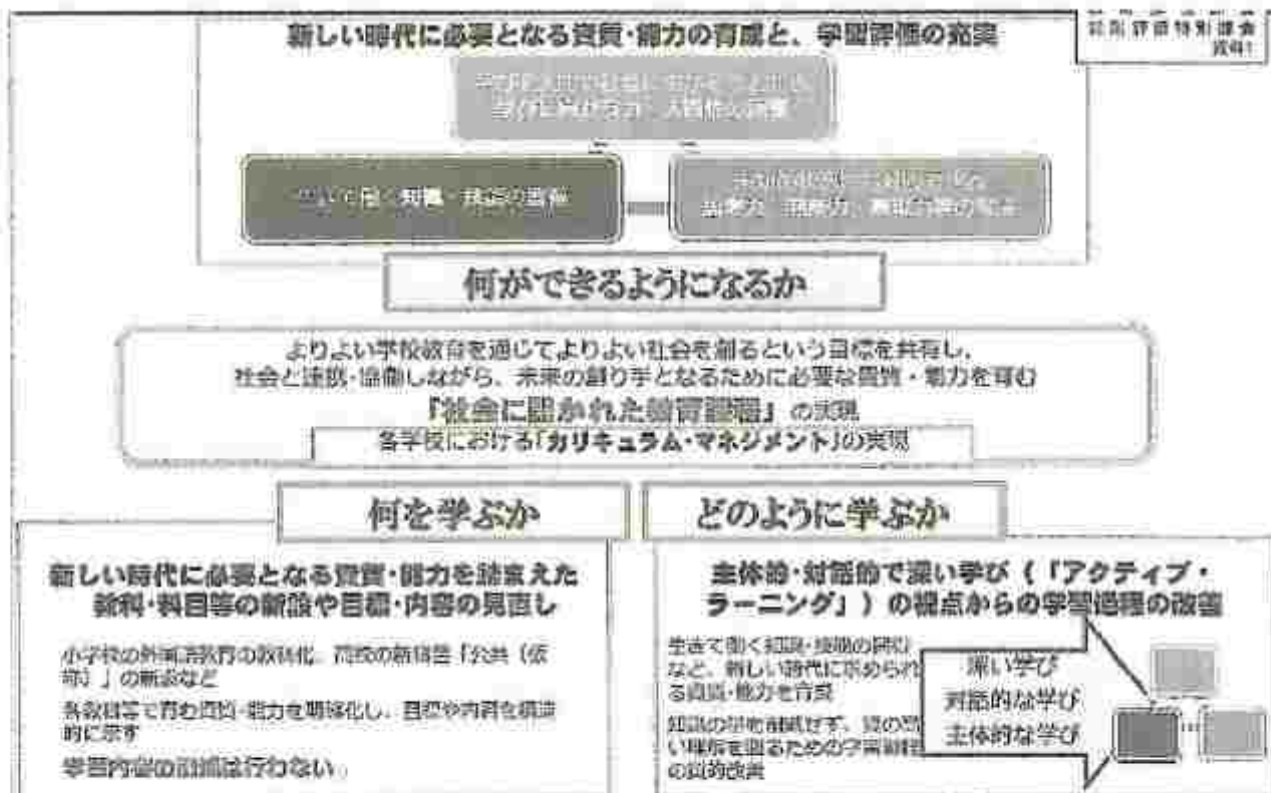
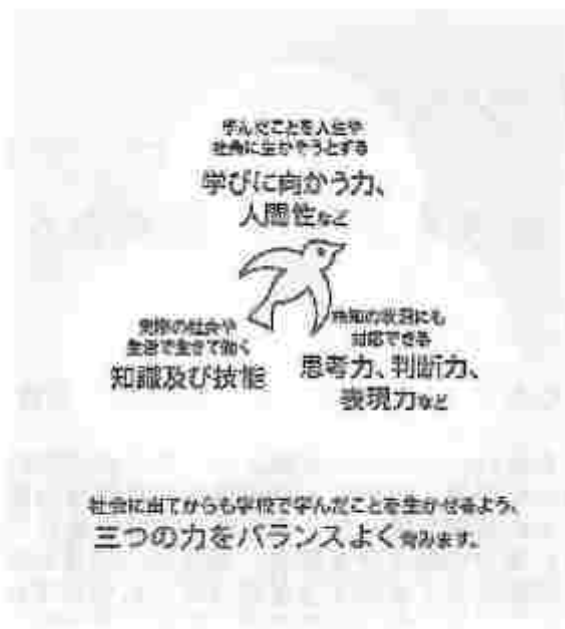


**具体的方策**

学級指導の工夫改善	自己教育力の育成	連携協力
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律の確立</li> <li>ICTを活用した指導方法の実践研究と推進</li> <li>支え合う学級集団の形成</li> <li>グループ学習、机配置など学習形態の工夫改善</li> <li>全授業を通じた学力育成</li> <li>高学年での少人数指導</li> <li>自学自習力を高める指導方法の実践研究と推進</li> <li>全教員の研究授業公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間を大切にする学校生活</li> <li>教え合い学び合う学習形態</li> <li>学級会、児童会での自治活動</li> <li>集団意識を高める学校行事</li> <li>自己表現力と理解力を深める活動(俳句、劇、創作、合唱、発表等)</li> <li>家庭学習のための手引き作成</li> <li>自己肯定感を高める全教科でのポートフォリオ等による資料保存</li> <li>放課後自習、補習指導の充実</li> <li>登下校、放課後、休日の生徒指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区小中学校4校の緊密な連携</li> <li>学校と家庭との連携</li> <li>安全監視や登校班でPTAとの連携</li> <li>保護者講演会や学習会の実施</li> <li>見守り隊、コミュニティの連携</li> <li>いきいき広場と連携</li> <li>外部評価の積極活用</li> </ul>

【何ができるようになるのか】

子ども達に必要な3つの力 資質・能力 ・学習指導要領から





## 学習規律系統表

年	聞く	話す	書く
低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し手を見ながら聞く</li> <li>○話は最後まで聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○だまって挙手する</li> <li>○指名されたら返事して立つ</li> <li>○みんなに聞こえるように話す ・・・です ・・・だと思えます</li> <li>○話し合おうとする</li> <li>○聞き手を見て話す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○黒板に書いてあることをきっちり書く</li> <li>○したことやわかったことを書く</li> <li>○自分の感想を書く</li> </ul>
中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し手を見ながら聞く</li> <li>○話は最後まで聞く</li> <li>○互いの考えの同じところ、違う所を考えながら聞く</li> <li>○話し手の言いたいことを考えながら聞く</li> <li>○わからないことはたずね、さらに知ろうとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○だまって挙手する</li> <li>○指名されたら返事して立つ</li> <li>○最後まではっきり話す</li> <li>○適切な声・言葉づかいで、筋道を立てて話す</li> <li>○進んで話し合おうとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の過程や自分の考えを書く</li> <li>・わかったこと・思ったこと</li> <li>・友だちの考えていいと思ったこと</li> <li>・考えの変化を書く</li> <li>・気づいたこと</li> <li>・これから気をつけたいこと</li> </ul>
高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し手を見ながら聞く</li> <li>○話は最後まで聞く</li> <li>○友だちの考えと比べたり関係づけたりしながら聞く</li> <li>○わからないことはたずね、さらに知ろうとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○だまって挙手する</li> <li>○指名されたら返事して立つ</li> <li>○最後まではっきり話す</li> <li>○適切な声・言葉づかいで、筋道を立てて話す</li> <li>○速さや間を考えて話す</li> <li>○声を相手に届けようと意識して話す</li> <li>○人を傷つけない話し方をする</li> <li>○話し合いの流れを意識し、進んで話し合おうとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の過程や自分の考えを書く</li> <li>・わかったこと・思ったこと</li> <li>・友だちの考えていいと思ったこと</li> <li>・考えの変化を書く</li> <li>・気づいたこと</li> <li>・これから気をつけたいこと</li> <li>・要点・まとめ</li> </ul>

## 学習規律 学年目標

- |    |                                  |
|----|----------------------------------|
| 1年 | しっかり聞く、しっかり話す。                   |
| 2年 | はなしをしっかり聞き、自分の思ったことを伝える。         |
| 3年 | 話をしっかり聞き、自分の考えたことを発表する。          |
| 4年 | 話をしっかり聞き、相手を意識しながら自分の考えたことを発表する。 |
| 5年 | 話の要点をとらえて聞き、自分の思ったこと、考えたことを話す。   |
| 6年 | 話の要点をとらえて聞き、自分の言葉で相手に伝わるように話す。   |

## 令和5年度の重点方針

令和5年度は、枚方市の教育理念を踏まえ、本校として、以下の6点を「重点方針」として取り組む。

1. 確かな学びと自立を育む教育の充実 …「知」
2. 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実 …「徳・体」
3. 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実
4. 地域とともにある学校づくりの推進
5. 学びのセーフティネットの構築
6. 教職員の資質と指導力の向上

1. 確かな学びと自立を育む教育の充実…「知」	
＜枚方市小中一貫教育推進事業の推進 四 中校区＞	めざす子ども像：「豊かな人間力と確かな学力を持つ子どもの育成」 教科等の部会を中心に小中の円滑な接続を図る。
＜学校運営＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の経営・運営方針の共有化を徹底し、機動力ある校務処理体制を確立し、組織的・有機的に課題解決にあたる。</li> <li>運営：学校長→教頭→首席→企画運営委員会→各主任各分掌担当者 →全教職員</li> <li>・学校企画運営委員会は教育目標の達成をめざし組織的・効率的に進めるため、学校運営に関わる諸課題や職員会議原案等について検討や調整を行う。</li> <li>検討や調整の流れ：各主任各分掌担当者→首席→管理職→企画運営委員会→各学年→職員会議</li> <li>・各分掌担当者は、職員会議の年間会議予定をもとに1年間を見通して事前に計画立案する。提案事項は、首席と調整のうえ企画運営委員会に提出し検討を行う。</li> <li>・「評価・育成システム」「授業アンケート」「学校教育自己診断」を生かし、教職員の資質向上と学校の活性化を図る。</li> </ul>
＜確かな学力＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に即した適正な教育課程を編成し、適正に指導する。年間標準授業時数を上回る指導時間を確保し、指導内容の確実な定着を図る。</li> <li>・「Hirakata 授業スタンダード」(第2ステージ)に基づいた取組を学力向上担当者及び学年会において組織的・計画的に実施する中で、対話的・主体的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。</li> <li>・多面的、多角的な評価を通し、指導と評価の一体化を図り、教育効果の向上に取り組む。</li> <li>・全国学力・学習状況調査、学期末テスト、学年末テスト等で児童の実態を踏まえ、「学力向上プラン」を全教職員で取り組む。</li> <li>・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、教室がすべての児童にとって落ち着く環境になるようにする。</li> <li>・基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。(授業・朝の学習・放課後自習教室・家庭学習等で、市・府の学習プリント等を有効に活用する)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能等を活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育てる。 (課題解決学習・言語活動を取り入れる等、指導法の改善を図る)</li> <li>・5・6年生の算数において、少人数指導を実施し、習熟度指導を中心にチームティーチング・単純二分割による指導により基礎学力の確実な定着と自学自習力を育てる。</li> <li>・デジタルテレビや電子黒板、背面カメラ、タブレット端末等の ICT 端末等を適切に活用した学習活動の充実及び情報活用能力(情報リテラシー)の育成を図る。</li> <li>・国の GIGA スクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末等の ICT を活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びを推進する。それにより、全ての学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成を図る。</li> <li>・英語教育については、外国語加配教員や英語指導助手を有効活用し体験的な活動を中心に英語によるコミュニケーション能力を育む。</li> <li>・環境に関する身近な課題等を通して環境教育に取り組む。S-EMSとの関連を図る。</li> <li>・「読書が好きな児童」を増やすため、学校図書館の活用及び委員会活動等読書指導の充実に努める。</li> </ul>
--	---

## 2. 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実・・・「徳」「体」

<道徳教育>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育推進教師を中心とした指導体制のもと、各教科等との関連を踏まえた指導計画を立て、道徳性(道徳的な心情、判断力、実践的態度など)を養う。</li> <li>・「特別の教科道徳」では、「自己のよりよい生き方についての考えを深めること」を重視した指導を進め、道徳ノートやワークシートを用い、適切な評価を行う。</li> <li>・保護者や地域社会に授業公開するとともに、社会性・人間性を育む教育活動のため、連携を図る。</li> </ul>
<人権教育>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活の身近な課題解決を行う中で、生命の尊さに気付かせ、お互いを大切にする態度や人格の育成を図り、人権教育を総合的に推進する。</li> <li>・自尊感情を育て、「児童が互いにつながり合い、支え合い、高め合う生活集団」の意識を高め、いじめ、からかい、差別、暴力行為等の根絶に努める。</li> <li>・児童虐待防止として、児童虐待防止主担者を中心に、子ども家庭センターや子ども総合相談センター等関係機関との適切な連携のもとに未然防止・早期発見・早期対応に努める。</li> <li>・人権教育・平和教育に係る研修を充実させ、全教職員の人権意識や平和教育の意識を高め、日々の実践に生かす。平和教育の指導にあたっては、生命や平和の尊さについて、適切に指導するとともに、国際社会に貢献できる資質と態度を身につけさせる。</li> </ul>
<体力向上>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画・大阪府体力・運動能力調査の結果を反映させた「体力向上プラン」をもとに、体育の授業を柱に、6年間を見通した体力向上の日常的な取り組みを進め、体力向上を図る。</li> </ul>
<健康教育>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する意識を高めるため、食育の全体計画を充実する。また、日々の給食指導においては、個々の体質や成長の度合いに配慮しながら、好き嫌いをなく食べる習慣を身に</li> </ul>

	<p>つけさせ、残菜0をめざし指導に当たる。食への関心や理解を深め、保護者と連携・協力しながら食育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギー対応については、対応委員会を中心に、保護者との連携、全教職員での定期的な研修と共通理解場の設定を行い、誤配・誤食・誤飲等の根絶を図る。</li> <li>・安全・衛生管理を徹底し、感染症・食中毒の予防や熱中症等の事故防止に努める。感染症予防については、感染拡大防止のため、手洗い・うがい・咳エチケット・換気等の感染防止対策を指導する。</li> <li>・保健室の利用状況の分析等組織的な対応を通し、日常的な校内安全指導の徹底。</li> </ul>
--	--

### 3. 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

<支援教育>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内組織体制を整備し、児童・教職員・保護者・地域に対して支援教育の理解と啓発を推進し、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた取組を推進する。</li> <li>・支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会や全体の場で共通理解し、必要に応じて、教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、全校的な支援体制のもとに継続した指導の充実を図る。</li> <li>・障害者理解教育、多文化共生教育を進め、好ましい人間関係の育成を図る。</li> <li>・支援を必要とする児童に対しての適切な指導方法についての研修を実施する。</li> <li>・障害のある児童の人権を尊重することを基本に、障害者理解を進める教育を実施し、人権意識の向上及びいじめ等による人権侵害事象等の未然防止を図る。</li> </ul>
--------	---

### 4. 地域とともにある学校づくりの推進

<社会に開かれた学校づくり>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスクールとして学校運営委員との連携のもと、学校・家庭・地域が協働し、地域で守り育てる児童を目標とした地域とともにある学校づくりに努める。</li> <li>・学校は、適切な情報発信及び地域行事への参加に努め、共通理解のもと適切な連携を図る。</li> <li>・校区福祉委員会、青少年指導部会、地域老人会、地域子ども会等との連携を継続し、学校での児童との学習活動、高齢者ふれあい活動、福祉・ボランティア活動、枚方子どもいきいき広場活動、特別活動等の教育活動が活性化するように積極的に働きかけ、学校と地域の活性化に努める。</li> <li>・校門の安全監視、校区見守り隊、子ども110番の家、ただいまパトロール中ステッカー、校区安全マップ、児童個人安全マップの作成等により、学校・家庭・地域が連携して安全対策を実施し、安全・安心して生活できる環境作りを推進する。</li> <li>・学校からの情報発信として学校HPやブログ、情報配信メール等の活用を推進する。</li> <li>・家庭や地域と連携した教育活動の推進及び児童の健全育成を図る。</li> <li>・「学校の手引き」「家庭学習の手引き」を配付し、一層の理解と協力関係を深める。</li> </ul>
----------------	---

## 5. 学びのセーティネットの構築

<p>&lt;生徒指導&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童理解と指導力の向上を図り、教職員相互の共通理解と認識のもとに、生徒指導主体者を中心に組織的な生徒指導を行う。</li> <li>・問題事象が発生した際には、ケース検討会議を招集し、状況を的確に把握するとともに迅速な初期対応に努める。</li> <li>・いじめ・不登校、問題行動等を出さない学級・学校づくりをめざすため、養護教諭や支援学級担任、心の教室相談員等を含めた全教職員で、チームとして児童及び保護者に寄り添う体制を整える。</li> <li>・いじめ問題については、「いじめは絶対許さない」という毅然とした姿勢で指導にあたる。また、道徳教育・人権教育を中心に子どもの豊かな心と実践力を育成すること、子どもと教員との信頼関係を築くことを通して「いじめを起こさない学校」を推進する。いじめ事象が発生したときには、迅速な初期対応に努める。「枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)」「山之上小いじめ防止基本方針」を活用し対応する。</li> </ul>
<p>&lt;安全教育&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3領域について外部講師による授業の実施及び避難訓練や日常的な啓発により、自分の身は自分で守る意識の形成を図る。</li> <li>・常に危機管理マニュアルの改善を図り、児童の命を守るための連絡体制及び安全管理体制を確立する。特に、大阪北部地震及び東日本大震災を教訓に、マニュアルの見直しを図り、児童の適切な安全確保に努める。</li> <li>・防災訓練や防犯訓練を実施し、教職員の危機管理意識の向上と学校安全に関する校内体制の整備に努める。また、児童に関わる自然災害時の被害や不審者犯罪、学校事故、交通事故等の未然防止に努める。</li> <li>・安全対策活動のさらなる周知に努め、地域・家庭・学校・関係諸機関が緊密に連携して、児童の安全な生活環境の確保に努める。</li> <li>・学校施設・設備は毎月1回の安全点検を実施し、異常や危険箇所の早期発見と早期修繕に努める。</li> <li>・児童が安全な生活を送る能力や、様々な危険に適切に対応できる能力を育てる安全教育を行う。</li> <li>・アレルギー疾患のある児童には、アレルギー疾患ガイドラインや学校給食における食物アレルギー対応マニュアル等を参考に、家庭・医療機関と連携し、養護教諭、栄養教諭、全教職員、調理員と協働して事故の防止に努める。</li> <li>・安全・衛生管理を徹底し、感染症・食中毒の予防や熱中症等の事故防止に努める。 特に、インフルエンザについては、感染拡大の防止を図るため、手洗い・うがい・咳エチケット・換気等の感染防止対策を指導する。</li> <li>・校内安全指導を徹底し、保健室の利用状況の分析等組織的な対応を通し、日常的指導を強化する。</li> </ul>
<p>&lt;服務規律&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服務規律の徹底を図り、保護者・市民の信託に応えるようにする。</li> <li>・ハラスメント行為や体罰等を断じて起こさないよう徹底する。</li> <li>・正確な会計処理、適正な公文書の発着処理と保管、個人情報厳正な管理と取り扱い</li> </ul>

	<p>いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の適切な取扱い、管理・保管については、個人情報を取り扱う事責任を自覚し、個人情報の流出や紛失、PCのウイルス感染を防ぐ。</li> </ul>
<研修>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育公務員として、自らの資質能力の向上に恒常的に取り組む。</li> <li>・学力向上推進部を中心に、組織的・計画的に校内研修を行い、指導方法の工夫・改善を図り指導力の向上に努める。(研究授業の設定)</li> <li>・研究テーマ「伝え合う力の育成」</li> <li>・各経験者研修等を、組織的・計画的に実施し、ミドルリーダーの育成を図る。</li> <li>・若年教員の育成には、教育推進プランナーを活用し、組織的に推進する。</li> <li>・四中校区の教科部会等で研究を進める。(小中一貫教育)</li> <li>・一人1授業(公開)で、全教職員の授業交流と指導力の向上を図る。</li> <li>・不祥事防止、食物アレルギー対応、高い人権感覚の育成、教科指導等、適切な校内研修を通して教員の資質の向上を図る。</li> </ul>

### ※ その他の取り組み

	<p>○新型コロナウイルス感染症防止への適切な対応を行いながら、以下の取り組みを通じて、安全安心な学校づくりと学習保障への取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に案内のあるコンクール等を児童に紹介し、個性の伸長を図る。</li> <li>・市主催行事への参加。 (枚方市小学生陸上競技大会・枚方市小学生駅伝競走大会等)・</li> <li>・枚方市漢字をテーマに思いを伝える作文コンクール・枚方市お弁当コンテスト・</li> <li>・枚方市平和ポスターコンクール・敬老の日作文コンクール・ 枚方市明るい選挙ポスターコンクール・枚方市菊花展等。</li> <li>・外部講師の出前授業や地域人材の活用を図る。 租税教室・非行防止教室・防犯教室・リコーダー教室・交通安全教室 等</li> <li>・児童集会や児童会活動等を活用し、児童の活躍の場を設定し、異学年の交流を通じた自主性及び自尊感情・自己有用感の育成を図る。</li> <li>・枚方市 S-EMS 事業に積極的に取り組む。環境教育の一環として、ゴミの分別に日常的に取り組む。</li> <li>・清掃指導の徹底を図り、清潔で気持ちのよい学校環境作りに努める。</li> <li>・あいさつのあふれる明るくきれいな学校づくり。</li> </ul>
--	--

# 全学年児

令和4年度 学校教育自己診断のアンケート結果について

<回答人数503名>

A：そう思う B：大体そう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

項目	結果				
	A	B	C	D	
1 学校へ行くのが楽しい。	57%	30%	10%	4%	
2 楽しく遊べる友達がいる。	84%	11%	3%	1%	
3 給食の時間は楽しい。	63%	28%	7%	2%	
4 先生の授業は、わかりやすい。	68%	26%	4%	2%	
5 先生の説明や指示は、はっきりしてわかりやすい。	63%	29%	7%	1%	
6 大型テレビやプロジェクタ、コンピュータを使った授業は、わかりやすい。	60%	29%	9%	2%	
7 授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている。	68%	25%	5%	2%	
8 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている。	62%	25%	11%	2%	
9 授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている。	42%	36%	16%	6%	
10 授業の最後に、学習活動を振り返る活動をよく行っている。	41%	38%	17%	4%	
11 落ち着いた雰囲気(ふんいき)の中で、授業を受けることができる。	34%	36%	17%	12%	
12 読書の時間は、楽しい。	72%	17%	7%	4%	
13 体を動かして、運動や遊びをがんばっている。	70%	20%	8%	4%	
14 学校の遠足や社会見学は楽しい。	84%	12%	2%	1%	

15	学校の行事(運動会や児童会祭)は楽しい。	72%	19%	6%	2%	
16	学校のクラブは楽しい。(4年生以上)	65%	17%	4%	14%	
17	チャイムを守って行動している。	53%	34%	10%	3%	
18	命を大切にし、人への思いやりを持って行動している。	64%	29%	5%	1%	
19	地震や台風などのとき、どうしたらよいか教えてもらっている。	63%	27%	6%	4%	
20	先生は、みんなの意見や考えを大切にしてくれる。	74%	20%	4%	2%	
21	先生は、困ったときに相談にのってくれる。	72%	20%	5%	2%	
22	先生は、勉強でわからないところを教えてくれる。	77%	15%	6%	2%	
23	先生は、がんばったらほめてくれる。	67%	22%	7%	3%	
24	先生は、私たちとの決まりや約束を守ってくれる。	68%	24%	6%	2%	
25	先生は、いじめのない学級づくりに取り組んでくれている。	75%	18%	5%	2%	
26	先生につける通知表(あゆみ)はわかりやすく、はげみになっている。	71%	21%	5%	3%	
27	先生は、よりよい学級をめざし努力している。	78%	18%	3%	2%	
28	家で、学校の授業の復習をしている。	33%	28%	20%	19%	
29	家では、自分で計画を立てて勉強している。	34%	25%	21%	19%	
30	自分にはよいところがあると思う	52%	28%	13%	8%	

※小数点以下の位の四捨五入、選択肢「分からない」があるため、割合の合計が100%にならない設問があります。



## 令和5年度 学力向上プラン

### 学校長の「確かな学力」への構想（イメージ）

- ・集団力の発揮（組織的な学力向上＝学校全体での取り組みを意識）
- ・基礎基本を大切にしたい。（基礎的な学力の定着“読み・書き・計算”）
- ・楽しく継続する学び。（意欲的な学びと継続する学び。）
- ・「書く力」に重点を置きたい。⇒「書く」ためには、考えを持つからスタート。

### 研修テーマ

## 意欲的に学び、自分の考えを持ち、表現する子どもの育成

### ～（各学年の考える「1人1人が自分の考えを持つ手立て」）～

※サブタイトル部分については各学年が、算数科を中心に研修テーマに沿った子どもの育成のために学年で取り組んだ目標を記入する。

### 研修教科

- ・算数

理由）昨年度の反省より「教科をしぼった方がよい。」という意見多数。

全学年で取り組める。系統性もあり、研修を行いやすい。

### 研究の仮説

算数科において、児童が思考したり、考えたことを伝えあったりできるような活動を工夫し、繰り返し積み上げていけば、児童は自分の考えをもち、表現できるようになるであろう。

### 研究内容

#### 1：基本的な考え方

☆「自分の考えをもち、表現する子ども」とは

児童は課題を与えれば、自然に考えるわけではない。示された課題に対して、興味をもってなかったり、見通しが立たなかったりすれば、「考えよう」とはしない。教師の指示を待っている限り、児童の思考は活性化しない。「自分の考えをもち」とは、既習事項を活用して、解決への見通しもつことであると捉える。「何となくそう思う」ということではなく、既習事項を根拠として、見通しが持てるということである。そのためには、児童が「知っていることや前に学習したことを使えば、自分の方でも解決に向けて進んでいけそうだ」と児童に思わせるような問題を提示し、ねらいに沿っためあてをもたせる工夫が必要であると考えます。

「表現する」とは、めあての達成に向けて見通したことを、図、式、表、グラフといった数学的な表現の方法を用いて、表現することをいう。また、それらを言葉にして友だちに説明したり、友だちの考えを聞いて理解したことを自分で説明したりすることである。そのためには、児童が授業の中で表現する機会を多く与え、繰り返していく必要がある。

見通しをもって考え、考えたことを表現したり、考えを伝え合ったりすることで、考えを広げたり、深めたりすることができる。そのため、「自分の考えをもち」ことと「表現する」ことは、互いに補完し合う関係にあるといえる。

安心して  
やるべき  
雰囲気づくり

# Hirakata 授業スタンダード

～教師主体の一言授業からの脱却、「教え」から「学び」への転換～

目標設定  
達成率向上  
の向上

授業内容  
の  
つながり

必要な  
学習の  
時間

学習の意欲を  
高めるため  
学習の意欲を育成し、  
学習の到達率を向上させる

じっくり考える時間  
一人でも考える時間がある

授業内容に合わせた  
5つのCの視点



まとめ・振り返り  
授業の振り返り、  
振り返る時間がある

交流し、続ける活動  
交流する時間がある

- 1. 学習意欲を高める** 学習意欲を高めるための授業内容、学習環境の整備、学習の到達率を向上させる。
- 2. じっくり考える時間** 一人でも考える時間がある。授業内容に合わせた学習の時間、学習の到達率を向上させる。
- 3. 学びの振り返り** 学習の振り返り、振り返る時間がある。学習の振り返り、振り返る時間がある。
- 4. 交流し、続ける活動** 交流する時間がある。交流する時間がある。
- 5. 学びの成果を評価する** 学習の成果を評価する。学習の成果を評価する。

## 今年度の取り組み

### 1：校内研究の充実（組織的な学力推進）

- ・いつでも教室で授業が見られる雰囲気づくり（校内体制）
- ・ステップアップ研修（初任者研修と兼ねる校内研修）
- ・事前検討会の実施＋研究協議会の運営（グループ毎に行う。）
- ・研修通信の作成

### 2：朝学習の見直し

- ・朝学習を学校全体で揃える（内容・日にちなど…）
- Ex)月：国語 火：算数 水：読書 木：国語 金：思考ツール DAY

### 3：自主学習の推進

- ・校内で自主1 グランプリの実施
- ・校内掲示の充実 Ex) 保健室前に自主1 グランプリの取り組みなどを掲示)

### 4：校内研修（R-PDCA サイクル Rの充実）

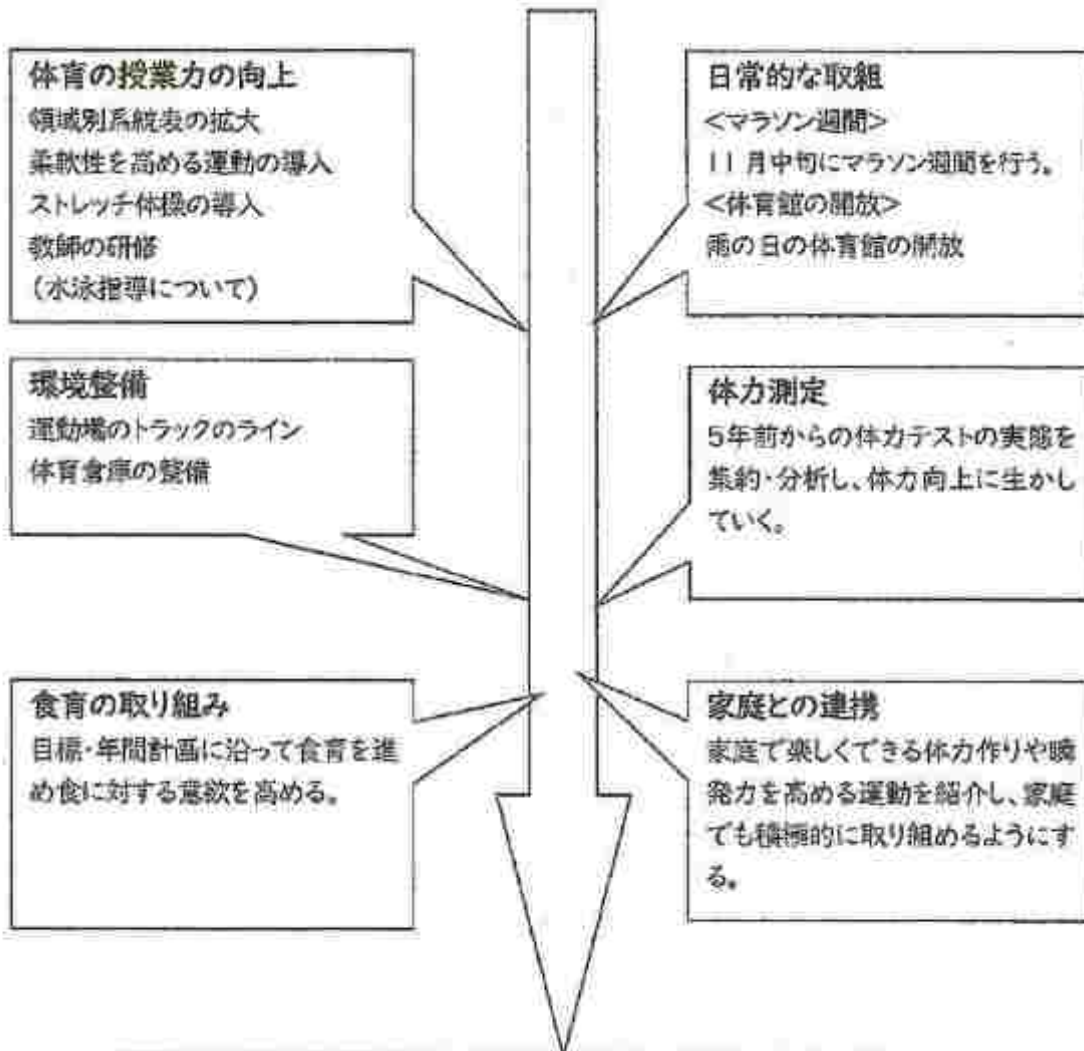
- ・校内で子どもたちの状況把握を行う研修を実施する。
- Ex) 山之上小学校の子どもたちの「伸ばしたい力」とは？「子どもたちの課題とは？」「子どもの強みは？」
- ・学期1度のアンケートの実施
- ・学カテスト・学期末テストの振り返り

(参考資料)

山之上小学校 体力向上プラン

<全国体力測定・体育に関するアンケートから見えてきた本校の課題>

- 男女ともに上体起こしと立ち幅跳びとシャトルラン、長座体前屈の項目(男子はソフトボール投げの項目も含む)で全国平均の値を上回るのに対し、それ以外の項目では全国平均の値を下回っている。
- 運動が好きだという割合が大きい一方で、運動が大切と考える児童の割合は全国より低い。
- スポーツクラブ以外で運動する時間は全国より10%以上低くなっている。



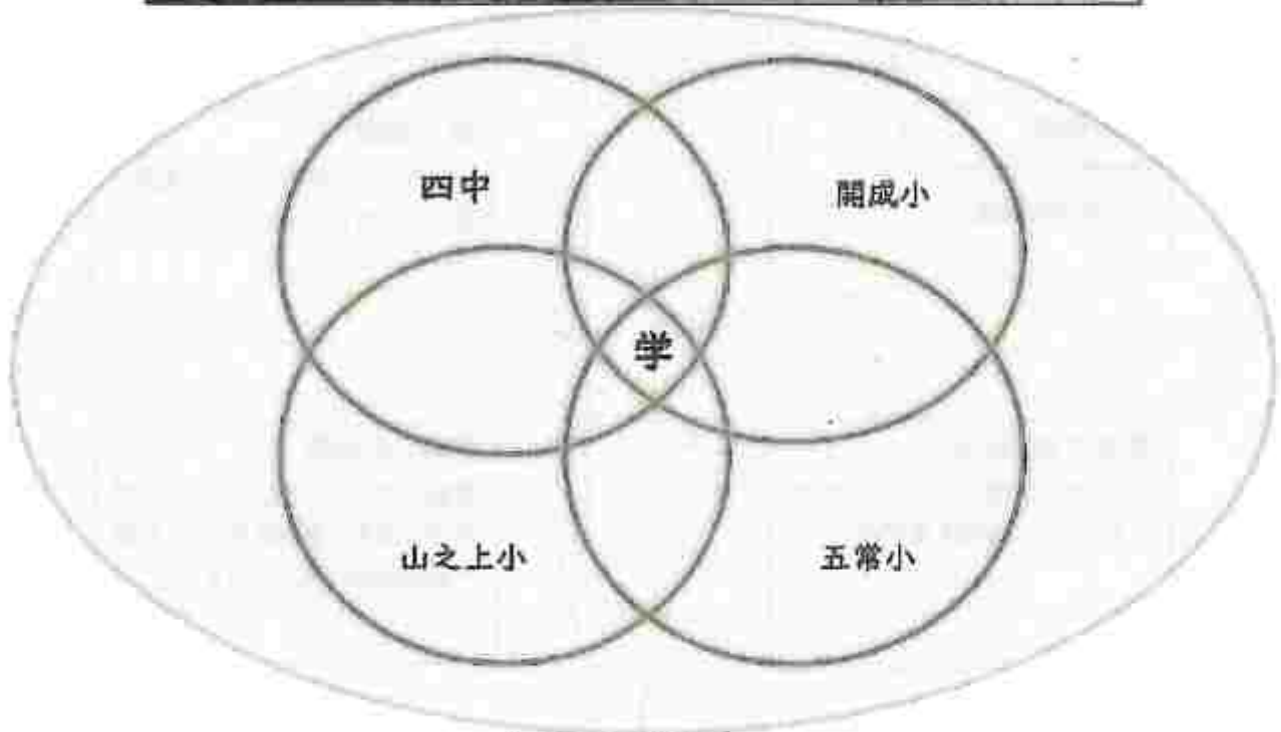
【目標】

「体を動かすことを楽しもう!! 山之上っ子」  
—柔軟性・持久力の向上をめざして—

# 四 中 学 園

## めざす子ども像

豊かな人間力と確かな学力を持つ子どもの育成



本年度の取り組み

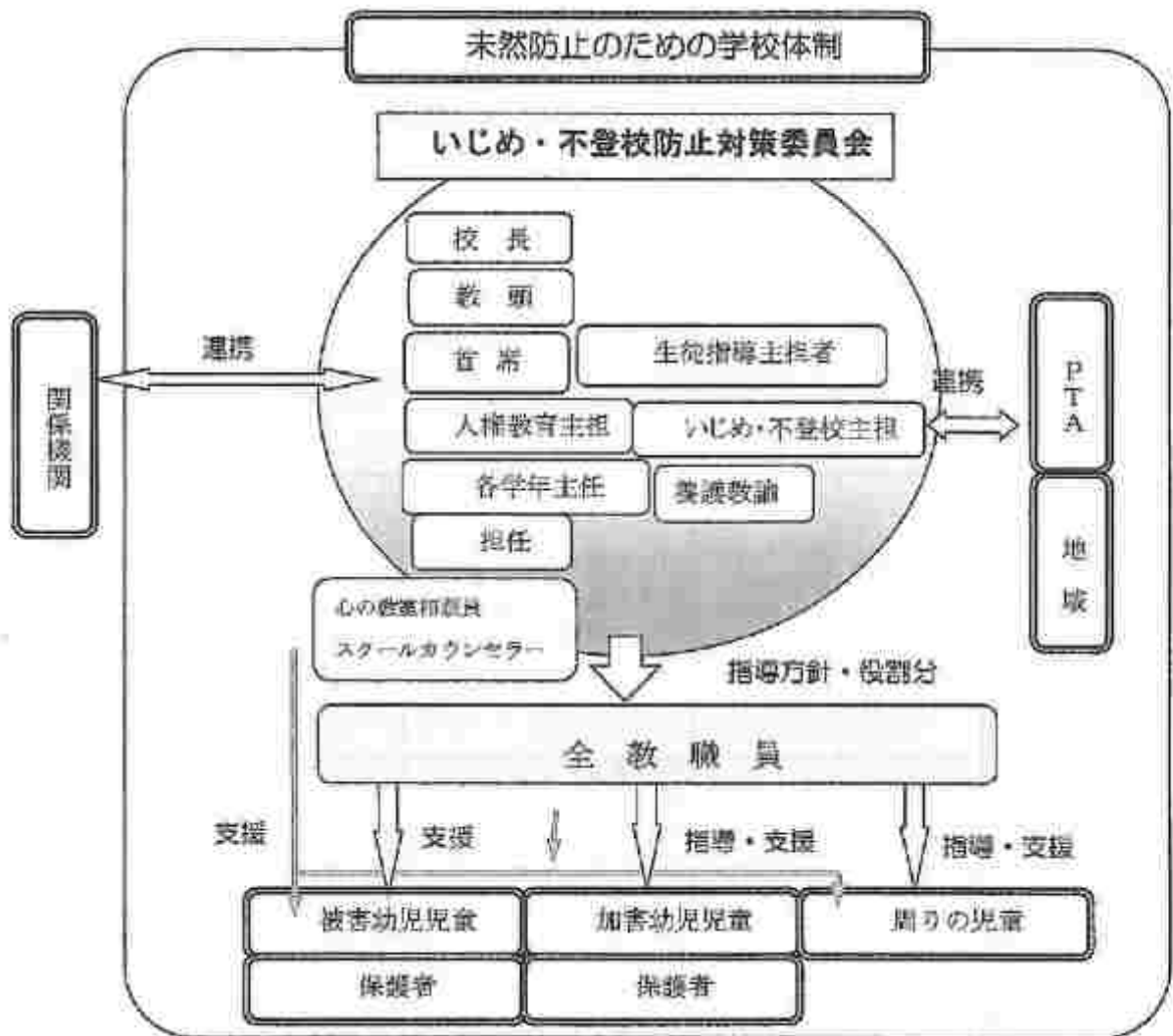
- ◎確かな学びの育成
- ◎自立の力の育成
- ◎小中学校間の円滑な接續
- ◎共同体組織の構築
- ◎特色ある一貫教育の推進
- ◎事務連携の推進

つながれ子ども！ つながれ大人！ つながれ四中学園！

四中学園 キャリア教育全体指導計画

めざす ハタチ像	自分らしく まわりとつながり 何事にもチャレンジする								
	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
発達段階の目標	なかよしになろう (関心をもとう)		友達と協力しあおう (関わりを深めよう)		自己を生かそう (自分を大切に)		自己を見つめる	達成感を味わう	進路を切り開く
つけた い力	つながる わかる		つながる チャレンジ		つながる わかる きめる		つながる わかる きめる	つながる わかる えがく	つながる きめる えがく チャレンジ
活動名	・給食がはじまるよ ・みんなみんな大喜びだよ	・ともだちをつくろう ・ともだちを知ろう	まちたんけん	1/2成人式	わが国の産業	修学旅行の取り組み	ドリームマップ キッズニア 職業講話 YO・YK	職場体験 YO・YK	保育体験 進路選択 YO・YK
目的	・給食当番としてそれぞれが役割を果たすことの大切さを知る ・家の人の仕事を知る	・自分以外の他者を知り、なかよくなれる。	働く人の仕事を理解し、仕事の楽しさや苦労を知る	10年間の成長を振り返り、感謝する	私たちの生活を支える仕事やその工夫を知る。	平和の大切さ、命の尊さを知り	将来について考える	仕事について考える	自己の進路について考える
活動内容	・給食当番としてそれぞれが役割を果たす。 ・家の人の仕事調べ自分のできることをやってみる	・ともだちのいいところみつけ	地域のスーパーや施設の様子を見学する スーパーで働く人の仕事を見学する	これまでの成長の足跡を家族から聞き取る 聞き取ったことをもとにファイルにまとめる これからの目標や家族への感謝の気持ちを表現する 10歳の記録として親本する 参観での発表	・バケツ稲づくり ・自動車工場見学 ・新聞社見学	・社会科で戦争について学習する ・ヒロシマについて調べ学習をする ・原爆被害者の会の方の話聞く	将来の姿を考える 仕事の話を聞く 仕事体験活動	仕事体験 表現活動	保育体験 進路選択
期待する子どもの姿 目的達成に向けたポイント	・自分の役割を知り仕事をやりとげようとする。 ・家族の一員として自分のできることをしようとする。	・他者を認め、なかよくしようとする。 ・遊びの中から、他者を知る。	校区のスーパーや施設の人々に関心を持つことができた	保護者への聞き取りをすることで喜びや大変さを共有する 10年の区切りとして感謝の気持ちを伝える	種を育てる体験や工場、新聞社等の見学を通じ、私たちの生活を支える産業を知り、そこで働く人の工夫や姿勢に興味を持つ。	修学旅行に向けての学習を通じ、命と平和の尊さを知り、家族や仲間を思いやる心をそだて、将来の自分について考えられる力を持つ。	将来の姿や仕事について考え、社会を見つめることができる 表現の探求により社会の仕組みを感じる	実際の仕事に触れ、社会の仕組みを理解する 表現の探求により社会の仕組みを感じる	保育に触れ、自己理解から進路選択ができる 表現の探求により社会の仕組みを感じる

未然防止のための学校体制



# 山之上小さいじめ対応マニュアル

いじめを起こさない学校づくり	いじめ問題の対応
<p>「いじめは絶対許さない」</p> <p>—いじめにつながる小さな問題の解決をめざす—</p>	<p>「いじめは絶対許さない」</p> <p>—早期発見・早期対応をめざす—</p>
<p>いじめ・不登校防止対策委員会</p> <p>○管理職 首席 生徒指導担当者 人権教育担当者 該当学年 養護教諭 担当者 心の教室相談員 対応方針の決定と確認、専門家・関係機関との連携を通して、いじめ防止等の取組、対応を検討する。</p> <p>いじめ相談窓口 相談体制</p> <p>○相談窓口を設置し、児童・保護者に周知する。 必要に応じて、第四中学校のスクールカウンセラー、枚方市の相談機関を活用し環境を整える。</p>	
<p>○子どもの豊かな心と実践力の育成</p> <p>・道徳教育 思いやり・友情・生命の尊重・正義・公正公平及び実践力の育成 授業で、「いじめを許さない」心を育てる 山之上小心の教育の日「道徳の時間」公開 保護者との協力関係の形成</p> <p>・人権教育 自尊感情を高め「いじめを許さない」「いじめをなくしていこう」という態度の育成</p> <p>○学級・学校の集団づくり いじめを許さない集団と信頼関係の構築</p> <p>○児童を大切にする教師（信頼関係を築く）</p> <p>・子どもの良さを認め、伸ばす教師 ・子どもたちの意見をきちんと受け止める教師 ・明るく丁寧な言葉づかいで接する教師</p> <p>○重点指導</p> <p>・あいさつ、言葉づかいが適切にできる子 ・そうじを一生懸命する子 ・正しい言葉遣いができる子 ・礼儀・マナーが正しくできる子 ・学校・生活・授業のきまりを守る子</p> <p>○その他の未然防止の取組</p> <p>・児童集会での教育 校長・生徒指導担当者からの計画的な指導 生命の尊重 思いやり・親切 誠実 勇気</p> <p>・学期に一度のアンケート実施</p> <p>・児童会活動 自分たちの力で学校生活を向上させよう 児童会まつり 児童の主体性を大切に、達成感を体験する</p> <p>・学校行事</p>	<p>○いじめ事案の認知 迅速な初期対応</p> <p>①校長による対応の指示</p> <p>②正確な事実確認と心のケア 被害児童への聞き取りと加害児童への聞き取り</p> <p>③市教育委員会に把握した事実を、随時報告し相談情報の共有 対応方針の決定と確認 専門家・関係機関との連携 関係教職員の役割分担 被害児童・保護者への対応 加害児童・保護者への対応 学級・学校全体への指導 （必要に応じてケース会議）</p> <p>④被害児童への対応 ケース会議 心身状態の見立て 解決に向けた目標設定と方策 （見守り、相談体制、心身の安心安全を最優先） チームとして具体的な取組</p> <p>⑤加害児童への対応 ケース会議 行為の背景や原因への見立て 解決に向けた目標設定と方策 （責任だけでなく、子どもの思いを十分に聞き取る） チームとして具体的な取組</p> <p>⑥再発防止に向けた継続的な取組 被害・加害児童への継続的な支援・指導 再発防止に向けた教育活動全般の見直し</p> <p>⑦枚方市教育委員会等との連携 「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」 「枚方市学校いじめ対策審議会」 「枚方市いじめ再調査委員会」 枚方市、枚方市教育委員会、子どもの育ち見守りセンター、中央子ども家庭センター、警察、法務局など</p>

## 山之上小いじめ防止年間計画

	児童・保護者	学 校
通年	心の教室相談 委員会・クラブ活動 入学式、対面式 児童・保護者に相談窓口周知 学級懇談会（担任保護者顔合わせ）	心の教室相談/登校指導/通信の発行 （学校・学年・学級・給食・保健等）/ 四中学園各部会/地域会合等への出席 校内研修/人権支援生指に関する情報 共有の会
4月	家庭訪問 校外学習	部会にていじめ防止対策会議 「学校の手引き」「家庭学習の手引き」 配信 人権支援生指全体会
5月	日曜参観 5年キャンプ	部会にていじめ防止対策会議
6月	アンケート実施	部会にていじめ防止対策会議 アンケートの集約と対応
7月	個人懇談会	部会にていじめ防止対策会議



8・9月		部会にていじめ防止対策会議
10月	運動会 校外学習 6年修学旅行	部会にていじめ防止対策会議
11月	アンケート実施	部会にていじめ防止対策会議 アンケート集約と対応
12月	個人懇談会	部会にていじめ防止対策会議
1月		部会にていじめ防止対策会議
2月	保育園児との交流	部会にていじめ防止対策会議 アンケート集約と対応
3月	6年生を送る会 卒業証書授与式	部会にていじめ防止対策会議

※「道徳教育」「人権教育」「総合的な学習の時間」「特別活動」を中心に自尊感情を高め、いじめを許さない態度を育成する。

※「山之上小いじめ対応マニュアル」(別紙)に取組み、いじめを起こさない学校づくりをめざし、早期発見・早期対応を組織的に行う。

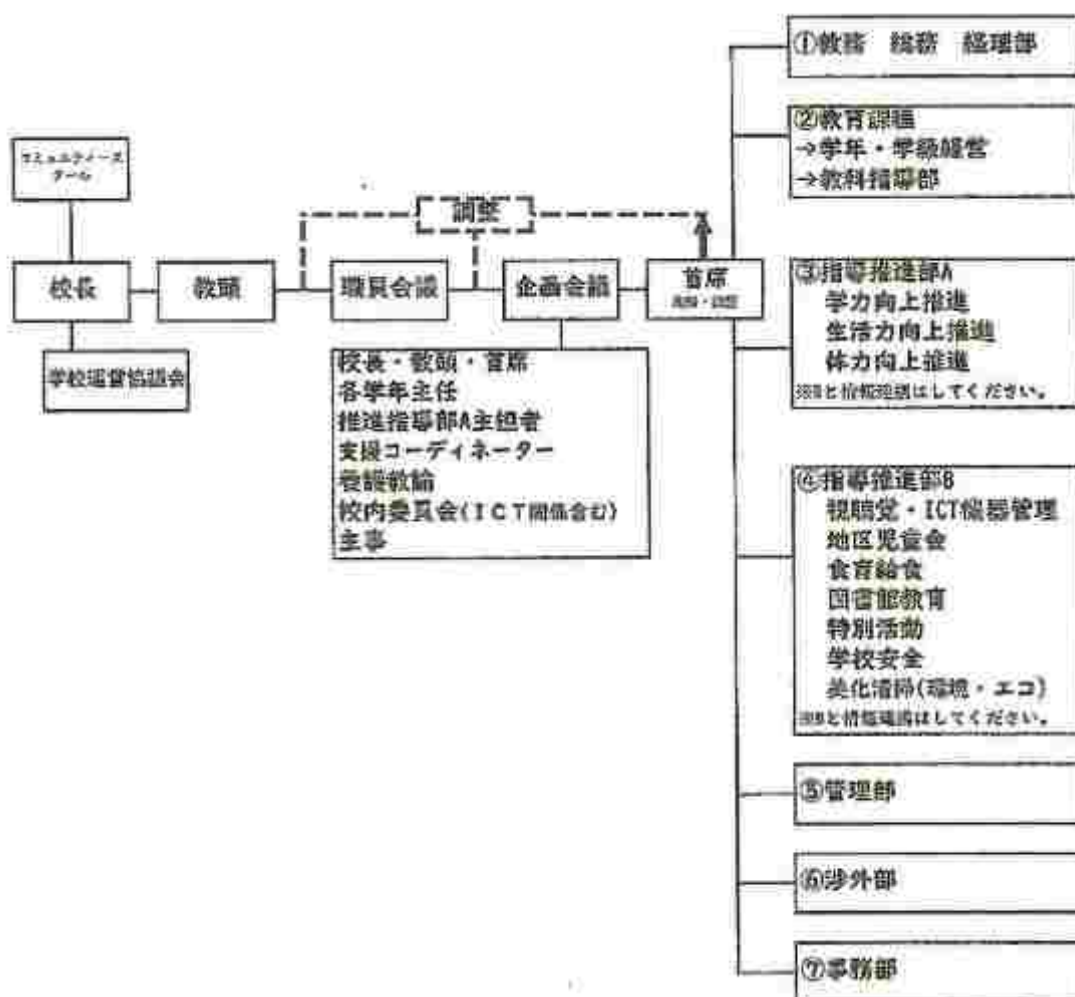
職員構成

担当	氏名	備考
校長	北村 雄一	
教頭	下司 順平	衛生推進者 児童虐待対応主担者 情報セキュリティ
首席	秋月 良太	生活福祉主担 担任者 小単一担任者 ア・ コミュニティスター 1000名登録
担任外	村中 章彦	5・6年理科 学力向上主担
	米田 昭一	少人数指導 5・6年算数
	ゴドフリー ニコラ マアリー	英語専科
	安江 陽奈子	4・5・6年音楽
指導兼教諭	田中 理那	食育主担
養護教諭	香田 習佳子	保健主事 ハラスメント・休病相談窓口
学校事務	藤本 善子	主事
支援学級	増田 香里	支援教育コーディネーター 保幼小運携担当
	目次 陽子	人権教育主担 図書館教育主担
	角 由希	
	野村 美奈子	
	築地 綾子	
	久保 美葉	
	川口 晴美	介助員
	新谷 博子	支援補助員
	馬場 さやか	支援補助員
	1年1組	井上 信
1年2組	土井 栞美	
1年3組	金剛 裕志	
2年1組	坂田 和昭	
2年2組	大隅 健巳	学年主任
2年3組	菅西 美紗	
3年1組	牧野 美穂	学年主任
3年2組	柴田 奈彦	
3年3組	松田 佑悟	
3年4組	寺本 由季	道徳教育推進教師
4年1組	上村 健太	学年主任 生活力向上主担
4年2組	中道 千乃	
4年3組	松浦 美幸	司書教諭
5年1組	異田 美和	
5年2組	福崎 幸彦	
5年3組	宮田 康弘	学年主任 体力向上主担
6年1組	重 康幸	学年主任
6年2組	上田 俊成	
6年3組	橋岡 史代	学校安全担当
非常勤講師	藤原 英代	4年園工・3年書写(首席負担軽減非常勤講師)
	古本 あつ子	支援学級(支援教育コーディネーター充実事業講師)
心の教室相談員	杉野 文子	
校務員	真 裕司	
調理員	如月 スアン	
	塩川 美代子	
	西田 佐知	
	山端 佐地子	
学校施設 管理人	三浦 勝	
	岡田 啓二	

校医	内科	榮樂 周子・堀内 俊幸	耳鼻科	伊藤 尚
	齒科	紺田 敏之・藤原 茉莉	眼科	衣川 慶弘
学校薬剤師		竹原 潤		

## 校務分掌

### (1) 組織図



### (2) 校務分掌

#### ① 教務部

沿革史	教頭
日課 (月課表 月時程 教育計画 時間割り 授業時表 学校要覧 月令行事 学校行事 補給割り基て 自己)	教務・教頭
調査統計 (基本統計 各調査)	教務・教頭
学籍 (各公印管理保管: 指導長録 抄本 出席簿 健康診断票 歯科検診票 図書借帳 会議録等)	教務

#### 総務部

庶務 (出勤簿 年休簿 学校日誌 出張簿 購買簿 通絡網)	教務・教頭
文書 (公文書 届図書) 教頭・事務 図書台帳: 司書教諭	
保健 (保健関係事務 保健調査 医療券 保険申請 養護日誌)	養護教諭・教頭
調理場 (調理場諸連絡 日誌)	栄養教諭

#### 経理部

研修費関係 施設開放日	教頭
-------------	----

②教育課程

教育課程	学年学級経営	〈1年〉		〈2年〉		〈3年〉		〈4年〉	
		主任	井上	主任	大隅	主任	松田	主任	上村
		1組	井上	1組	大隅	1組	牧野	1組	上村
		2組	金原	2組	坂田	2組	柴田	2組	中瀬
		3組	土井	3組	香西	3組	松田	3組	松浦
						4組	寺本		
		〈5年〉		〈6年〉		〈支援学級〉			
		主任	菅田	主任	里	支C0		増田	
		1組	栗田	1組	里	1	増田	4	野次
		2組	福嶋	2組	上田	2	角	5	野村
3組	菅田	3組	横岡	3	久保	6	築地		

教科指導	○主催					
	国語	○目次 中瀬 坂田	社会 生活 科会	土井 ○福嶋	算数	少人数 ○松田 大隅
	理科	○村中 上村 松田			音楽	○安江 久保 増田
	国工	金原 牧野 ○角	体育	宮田 藤田 ○上村	家庭	○奥田 香西 横岡
	外国語	ニッキー ○星 松岡	道徳	○寺本 井上 築地		

学力向上推進部

部会構成員	○村中 金間 大淵 松田 松岡 福崎 植岡 久保 堀田 森山
校内研究 (研究会・研究会)	村中 森山 松田
学力テスト (マクマクスタ)	村中 久保
単題テスト	村中 久保
研究発表作成 (PTA発表)	村中 堀田
校内学習体制 (LMS推進)	村中 植岡 福崎 堀田
ICT活用教育 (学力向上分野)	村中 金間

福祉推進部

生活力向上推進部

部会構成員	○上村 井上 湯西 中本 湯田 田 目次 野村 倉田 ニッキー (秋月)
心身・人権 学習推進部 (心身・人権 学習推進部 推進委員会)	ニッキー 湯西 田 井上
子育て いっしょ・応援 (校務委員会)	奥田 倉田 (秋月)
生活力向上 (生活力向上委員会)	中本 土村
支援教育	目次 野村

健康・体力向上推進部

部会構成員	○宮田 土井 坂崎 牧野 中道 上田 内 堀地 安江 少人数
運動会	宮田 牧野 土井 中道 坂田 奥田
水泳部等	上田 内 堀地 堀地 中道
体育行事 (体育祭など)	牧野 内 上田 安江 堀田
保健体育 校内学習体制 (LMS推進)	堀田 安江 堀地 土井

○主担

指導推進部 B

視聴覚 ICT機器管理	増田 ○上田 奥田
地区児童会	中道 牧野 ○大隅 井上 福崎 ニッキー 村中 角
図書館教育	○目次 松浦 土井 宮田
英化業務 (環境・エフ)	○坂田 築地 野村 柴田
特別活動	○里 上村 寺本 安江
学校安全	香西 久保 松田 ○橋岡
給食食育	○田中 倉田 金関 少人数

④ 管理部

教室・倉庫関係	各教室(各担任) 職員室(教頭) 家庭科室(教科家庭1名と秋月) 図工室(教科図工1名) 音楽室(教科音楽) 図書室(B図書) コンピュータ室(教務) 放送室(視聴覚) 会議室(教務) 保健室・保健薬品(養護) 理科室・理科準備室(教科理科) 児童更衣室(教務・高学年女性) 職員更衣室(教務・担外) 印刷室(事務・教務) 生活科倉庫(教科生活) 少人数教室(少人数) 体育館(体力向上) 運動場(芝生も含む) プール(体力向上) 遊具(学校安全2名) 清掃倉庫(B美化清掃) 調理場(栄養) ストーブ・倉庫(教頭・教務) 花壇(校務員) 学級園(各学年) 管理倉庫(校務員)
備品	机・椅子(教務) 保健器具(養護) 図書(B図書) 給食(栄養) PC・ICT関係(B視聴覚) 教室備品(各担任) 消火器・冷暖房器具・扇風機(教頭)
消耗品	教具(各教科担当) 事務消耗品(事務) 清掃用具(坂田) 理科関係(増田)
管轄	施設・設備(校務員・教頭) 窓ガラス等(事務・教頭)

⑤ 渉外部

小中一貫	四中校区小中一貫推進員	首席・教務主任
	事務連携	主査 副主査
	養護連携	養護教諭 養護助教諭
	支援教育	支援 Co
	図書館教育連携	推進 B 図書教育部長
	保幼小連携	支援 Co
校区コミュニティ協議会 福祉委員会 青少年守る会	教頭	
第四中校区地域教育協議会	校長	
衛生推進者	教頭	
施設開放	教頭	
枚方市教育研究会推進員	首席・教務主任	
いきいき広場	教頭	
緑化推進	校務員	
留守家庭児童会連絡担当者	首席・教務主任	
コミュニティースクール	首席	

⑥ 事務部 ○主担者

学季（就学事務 就学援助 新出入 在籍 教科書 指導書）	○事務 教頭 各担任
給与（給与 諸手当 旅費 共済 互助）	○事務
市費（予算計画 購入 請求書処理 郵便料）	○事務
物品管理（消耗品 備品 台帳）	○事務 各教科部会
学校国庫収金（銀行、口座振替・学年会計・視聴覚費）	○事務 各学年担当
学年会計担当者 1年担当者 2年担当者 3年担当者 4年担当者 5年担当者 6年担当者	
給食費	○事務 各担任

⑦ 校内委員会

校内委員会	支援教育 いじめ・不登校対策委員会	校長 教頭 首席・教務主任 支援Co 委教 学年担 支援担
	虐待対応委員会	校長 教頭 首席・教務主任 振Co 養教 学年担 支援担
	評価検討委員会	校長 教頭 首席・教務主任 学力向上推進部
	校務分掌検討委員会	校長 教頭 首席・教務主任 学年主任
	行事検討委員会	校長 教頭 首席・教務主任
	食物アレルギー対応・食育推進委員会 学校保健委員会	校長 教頭 養護教諭 養護教諭 8部会（食育給食指導部）
	ICT総括・管理委員会 （パスワード管理・委員会対応②対応、ロッカールームなど）	校長 教頭 首席・教務主任 枚方市ICTメンバー（授業をカエルLABO）
ハラスメント・休職相談窓口	養護教諭 養護助教諭 栄養教諭	



# 道徳教育の全体計画



# 第1学年の道徳指導計画

	〔主題名〕教科名	ねらい	主な関連活動
4月 ②	〔新しい学校〕 1 ようこそ、一ねんせい	学校の人々に親しみを持ち、学校生活を楽しくする心情を育てる。 (C よりよい学校生活、集団生活の充実)	入学式 各学校行事
	〔時間の決まり〕 2 じゆぎょうが はじまりますよ	時間を守ることでよびに気づき、きちんとした生活をしようとする意欲を育てる。 (A 節度、節制)	朝礼 堂下校
5月 ③	〔いつも明るく〕 3 あいさつ	基本的な挨拶の仕方を具体的に理解し、身近な人々といつも明るく接しようとする態度を育てる。 (B 礼儀)	あいさつ運動
	〔お世話になっている人たち〕 4 がっこうにはね	日頃自分たちの学校生活を支えてくれたり助けたりしてくれている人々に感謝し、自分ができることをしようとする心情を育てる。 (B 感謝)	学校探検
	〔自立した生活〕 5 きを つけて	危ない場所や遊びを理解し危険から身を守るとともに、物や金銭を大切にす、節度や節制のある態度を養う。 (A 節度、節制)	交通安全運動
6月 ④	〔親切な心で〕 6 はしのうえのおおかみ	身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。 (B 親切、思いやり)	
	〔命の重さ〕 7 ハムスターのあかちゃん	身近な生き物の誕生や成長の様子を優しく見つめ、命あるものを大切にしようとする態度を育てる。 (D 生命の尊厳)	飼育栽培活動
	〔みんな同じように〕 8 みんな いっしょ	自分の好き嫌いとらわれず、だれに対しても公正・公平に接しようとする心算を育てる。 (C 公正、公平、社会正義)	
	〔頑張る心〕 9 うかんだ うかんだ	自分の目標に向かって、一生懸命努力しようとする実践意欲を高める。 (A 希望と勇気、努力と強い意志)	夏休み、水泳会、体育
7月 ②	〔植物を育てる〕 10 ばくのあさがお	身近な自然に親しみ、優しい心で動植物の世話をしようとする心情を育てる。 (D 自然愛護)	飼育栽培活動
	〔すがすがしい心〕 11 にじがでた	美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。 (D 感動、畏敬の念)	読書時間
9月 ⑤	〔感謝の気持ちを伝える〕 12 みんな だれかに	日頃、自分たちの生活を支えてくれたり助けたりしてくれている人々に感謝し、自分ができることをしようとする心情を育てる。 (B 感謝)	食育
	〔自分の仕事〕 13 ばくのしごと	家族の役に立つ喜びを感じ、家族やみんなのために進んで働こうとする心情を育てる。 (C 勤労、公共の精神)	当番活動、生活科
	〔おかいごの大切さ〕 14 どきどき どきさんぐ	生きていることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。 (D 生命の尊厳)	生活科
	〔ほかの国の友達〕 15 ばくと シャオミン	他国の人々に親しみを持ち、自分たちと異なる文化のよさに気づいて積極的に関わっていかうとする心情を育てる。 (C 国際理解、国際貢献)	人権教育
10月 ④	〔勇気を出して〕 16 ダメ	よいと思ったことは、恐れなくて、勇気を持って行おうとする意欲や態度を育てる。 (A 善悪の判断、自律、自由と責任)	
	〔友達っていいな〕 17 こころはっば	友達と遠くまで開け、仲よくしようとする心情を育てる。 (B 友情、信頼)	
	〔わがままな心〕 18 かばちの つる	異国の人と自分のことを考え、わがままをしないで生活しようとする心情を育てる。 (A 節度、節制)	
	〔最後まで粘り強く〕 19 こぐまの らっば	自分がやらなくてはならないことは、最後まで粘り強く行おうとする心情を育てる。 (A 希望と勇気、努力と強い意志)	学芸会、音楽会

11月 ④	【決まりの大切さ】 20 よりみち	学校や家庭での決まりや規則の大切さを知り、決まりや規則を守ろうとする心情を育てる。(C 規則の尊重)	交通安全運動
	【家族の人の願い】 21 かやねずみのおかあさん	家族の優しい心づかいや努力に感謝し、家族のためにできることは進んでやっいていこうとする心情を育てる。	
	【いつも正直に】 22 どんぐり	うそをついたりごまかしたりしないで、明るく生活しようとする態度を育てる。(A 正直、誠実)	
	【わたしたちの国や町】 23 みつけてみよう	我が国や自分の暮らす町に親しみ、愛着を持って生活しようとする (C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	生活科
12月 ②	【優しい気持ち】 24 はなばあちゃんかわらった	友達やお年寄りなどに優しい気持ちを持ち、相手を大切に思う心情を育てる。(B 親切、思いやり)	
	【挨拶の心】 25 おうだんぼどうで	気持ちを込めた挨拶の大切さを知り、自分から進んで人に明るく接しようとする心算を育てる。(B 礼儀)	あいさつ運動
1月 ③	【決まりを守って使う】 26 みんなのボール	みんなで使うものを大切に扱おうとする心情を育てる。(C 規則の尊重)	係活動
	【自分のよさ】 27 ええところ	自分の特徴に気づき、長所を大切にしようとする心情を育てる。(A 個性の伸長)	
	【よいこと、悪いことを区別して】28 それっておかしいよ	よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行おうとする心情を育てる。(A 善悪の判断、自律、自由と責任)	
2月 ④	【友達を思う心】 29 ニわのことり	友達と仲よくし、思いやりを持って助け合っていこうとする心情を育てる。(B 友情、信頼)	
	【思いやりの心】 30 ぼくの はな さいたいけど	身近な人たちに温かい心で接し、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。(B 親切、思いやり)	
	【たった一つの命】 31 いのちが あって よかった	かけがえのない生命を大切にしようとする態度を育てる。(D 生命の尊厳)	安全検定
	【正直で素直な心】 32 あのね	うそをついたりごまかしたりしないで、素直にのびのびと生活しようとする心情を育てる。(A 正直、誠実)	
3月 ②	【生き物に優しい気持ちで】 33 ぼくの しらくま	身近な自然に親しみ、動物に優しい心で接しようとする心情を育てる。(D 自然愛護)	
	【楽しい学校】 34 もう、すぐ 二ねんせい	友達といっしょに自分たちの学校を大切にしようとする心情を育てる。 (C よりよい学校生活、集団生活の充実)	入学式
遠足	【うそやごまかしをしないで】 権権 セラル 35 いたずらがき	うそやごまかしをしないで、素直にのびのびと生活しようとする態度を育てる。 (A 正直、誠実)	

## 第2学年の道徳指導計画

	〔主題名〕教材名	ね ら い	主な関連活動
4月 ②	〔自分できちんと〕 1 じぶんで オッキー	健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整えて生活しようとする態度を育てる。 (A 節度、節制)	1年生を迎える会
	〔あたたかいこころで〕 2 くまんの たからもの	身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。 (B 親切、思いやり)	借りの会などの 「よいこを見つけ」
5月 ③	〔わたしの学校のよさ〕 3 ひかり小学校の じまんはね	先生を敬愛し、学校の人々に想いんで、世間や学校の生活を楽しくしようとする態度を育てる。 (C よりよい学校生活、集団生活の充実)	生活科(学校探検) 開校記念日
	〔みんなに公平に〕 4 大きな フルーツポンチ	自分の好き嫌いとらわれないで人に接しようとする判断力を育てる。 (C 公正、公平、社会正義)	給食
	〔自分も周りも明るく〕 5 いそいで いても	気持ちのよい挨拶、言葉遣いなどを心がけ、人と明るく接しようとする態度を育てる。 (B 礼儀)	あいさつ運動
6月 ④	〔わたしのよさ〕 6 ありがとう、りょうたさん	自分の特徴に気づいて、よいところを大切にしようとする心情を育てる。 (A 個性の伸長)	
	〔正しいことの気持ちよさ〕 7 わすれられない えがお	正しいと思ったことは、進んで行おうとする心持を育てる。 (A 善悪の判断、自覚、自由と責任)	
	〔優しい心を持って〕 8 げんきに そだて、ミニトマト	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心を持って接しようとする態度を育てる。 (D 自然愛護)	飼育栽培活動 生活科
	〔家族の役に立つ〕 9 だって おにいちゃんだもん	家族に対して親愛の念を持ち、家族の一員として役に立とうとする態度を育てる。 (C 家族愛、家庭生活の充実)	
7月 ②	〔友達を助けて〕 10 ともだちやもんな、びくら	友達を助けることの大切さに気づき、友達と仲良くし、助け合っていこうとする判断力を育てる。(B 友情、信頼)	
	〔たった一つの命〕 11 たんじょう日	多くの人に支えられ、守られている自分の命を大切にしようとする心情を育てる。 (D 生命の尊さ)	
9月 ④	〔やりぬく心〕 12 さかあがり できたよ	自分のやるべきことは、最後までやり遂げようとする態度を育てる。 (A 希望と勇気、努力と強い意欲)	係活動、体育
	〔自然や生き物を受取る心〕 13 まいごになった 赤ちゃんくじら	自然や生き物に親しみ、優しい心で接しようとする態度を育てる。 (D 自然愛護)	飼育栽培活動
	〔健康を守る〕 14 かむかむメニュー	健康や安全に気を付け、規則正しい生活をしようとする心情を育てる。 (A 節度、節制)	給食
	〔世界の国の人たちと〕 15 ひろい せかいの たくさんの人たちと	ほかの国の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。 (C 国際理解、国際親善)	母の日、父の日
10月 ④	〔助け合う友達〕 16 森の ともだち	友達と仲良く助け合っていこうとする態度を育てる。 (B 友情、信頼)	
	〔みんなが使うみんなのもの〕 17 きいろい ベンチ	みんなが使うものを大切に、約束やきまりを守ろうとする態度を育てる。 (C 規則の尊重)	遊具
	〔勇気を持って〕 18 おれた ものさし	よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てる。(A 善悪の判断、自覚、自由と責任)	
	〔親切のよさ〕 19 かっぱ わくわく	身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。 (B 親切、思いやり)	

11月①	【気持ちのよい挨拶】 20 「あいさつ」って いいな	誰に対しても進んで、気持ちのよい挨拶をしようとする態度を育てる。 (B 礼儀)	
	【わたしたちの町】 21 ながい ながい つうがくろ	郷土や我が国の伝統と文化を大切にしようとする心情を育てる。 (C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	生活科(可換)
	【生きる喜び】 22 ぼく	生きることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。 (D 生命の尊さ)	
	【正義のよさ】 23 さるへいと 立てふだ	うそをついたり、ごまかしをしつたりしないで、明るく生きて生活をしようとする判断力を育てる。(A 正直、誠実)	
12月②	【「ありがとう」の気持ち】 24 じぶんが しんごうきに	日頃お世話になっている人に感謝する心情を育てる。 (B 感謝)	交通安全運動
	【心の美しさ】 25 せつめい	美しいものに触れ、すがすがしい心を持つようとする心情を育てる。 (D 感動、畏敬の念)	
1月③	【わたしたちのクラスのために】 26 「三つみ 大すき」	先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくしていこうとする判断力を育てる。(C よりよい学校生活、集団生活の充実)	係活動
	【いのちのつながり】 27 ゆきひょうの ライナ	生きることのすばらしさを知り、生命を大切にしようとする態度を育てる。 (D 生命の尊さ)	健康・安全指導
	【親切にするよさ】 28 せきやうえんの さつまいも	身近な人々に温かい心で接し、進んで親切にしようとする心情を育てる。 (B 親切、思いやり)	
2月④	【あきらめないで】 29 ぼくは「のび太」でした	自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする態度を育てる。 (A 希望と勇気、努力と強い意志)	
	【正義でいるよさ】 30 金の おの	うそやごまかしをしないで、正直に伸び伸びと生活しようとする判断力を育てる。(A 正直、誠実)	
	【役に立てる喜び】 31 いま、ぼくに できる こと	働くことのよさを知り、みんなのために勤めて役に立てようとする態度を育てる。 (C 勤労、公共の精神)	
	【まよひを守る】 32 かくした ボール	約束やまよひの大切さを知り、みんなが使うものを大切にしようとする態度を育てる。(C 規則の尊重)	
3月⑤	【見えない心の美しさ】 33 ガラスの 中の お月さま	美しいものに触れ、すがすがしい心を持つようとする心情を育てる。 (D 感動、畏敬の念)	
	【わがままをしない】 34 わがままな 大男	わがままをしないで生活しようとする判断力を育てる。 (A 節度、自制)	
	【温かい家族】 35 まる子の かぞくへの しつもん	家族を敬愛し、進んで家族のために役立とうとする心情を育てる。 (C 家族愛、実生活の充実)	

### 第3学年の道徳指導計画

	[主題名]教科名	ねらい	主な関連活動
4月 ②	[優しい人っていいな] 1 やさしい人大きくせん	困っている人の気持ちを考え、優しい思いやりの心で接しようとする態度を育てる。 (B 親切, 思いやり)	争位活動
	[真心を込めて] 2 あいさつをすると	挨拶を中心とした礼儀の大切さに気づき、真心を持って接しようとする態度を養う。 (B 礼儀)	あいさつ運動
5月 ③	[つながる命] 3 スナグスグスージ	生命は過去からつながっていることを知り、生命を大切にする心構を育てる。 (D 生命の尊さ)	
	[動植物に寄せる思い] 4 ツバメの赤ちゃん	自然の大切さに気づき、進んで動植物を大切にしていこうとする態度を養う。 (D 自然愛護)	
	[計画的に行動する] 5 こうすけの朝	規則正しい生活をしようとする心構を育てる。 (A 節度, 節制)	
6月 ④	[みんなのクラス] 6 しょうたの手紙	みんなで協力し合って明るく楽しい学級をつくらうとする態度を育てる。 (C よりよい学校生活, 思慮生活の充実)	学級活動(学級目標)
	[励まし合う友達] 7 いいち, にいいち, いいち, にいいち	友達と互いに理解し、助け合っていこうとする態度を養う。 (B 友情, 信頼)	特別活動
	[決まりはなんのために] 8 きまりじゃないか	約束や決まりを守ることの意義を理解し、決まりを守ろうとする心構を育てる。 (C 規則の尊重)	交通安全運動
	[誰に対しても公平に] 9 みさきさんのえがき	分け隔てをせず、誰にでも公正, 公平に接しようとする態度を育てる。 (C 公正, 公平, 社会正義)	当番活動, 読書月間
7月 ②	[正しいことは自信を持って] 10 ニつの声	正しいと判断したことは、自信を持って行おうとする心構を育てる。 (A 善悪の判断, 自信, 自由と責任)	学芸会
	[自ら進んで働くことの大切さ] 11 ごみステーション	働くことの大切さを知り、自ら進んでみんなのために働く態度を養う。 (C 勤労, 公共の精神)	ボランティア活動 係活動, 当番活動
9月 ④	[正直に伝えるよさ] 12 一本のアイス	過ちを犯したときには素直に反省し、正直に伝えようとする気持ちを育てる。 (A 正直, 誠実)	
	[ほかの国のことを知ろう] 13 三つの国	他国の人や文化に興味し、関心を持とうとする態度を育てる。 (C 国際理解, 国際観望)	国際理解教育
	[遠かい心を大切に] 14 一さつのおくりもの	相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心構を育てる。 (B 親切, 思いやり)	
	[自然を大切に] 15 ホテルの引っ越し	自然の大切さに気づき、進んで動植物を大切にしようとする態度を養う。 (D 自然愛護)	地域環境学習 理科
10月 ④	[真心からの行い] 16 めれた本	正直に真心を持って行動し、明るく生活しようとする心構を育てる。 (A 正直, 誠実)	図書館利用
	[友達と信頼し合う] 17 なかよしだから	友達のことをよく考えて、友道を大切にしようとする態度を養う。 (B 友情, 信頼)	
	[自分の生活を見直そう] 18 こうすけならだいじょうぶ	自分でできることは、自分でやろうとする態度を育てる。 (A 節度, 節制)	
	[明るい家庭] 19 耳の聞こえないお母さんへ	父母を敬い、家族の一員として家庭を明るく楽しくしていこうとする心構を育てる。 (C 家族愛, 家庭生活の充実)	

11月④	【めあてに向かって】 20 ーりん車にのれた	自分でやろうと決めたことは、辛抱強くやりぬこうとする心構を育てる。 (A 希望と勇気、努力と強い意志)	持久走大会
	【命を大切に】 21 いただいたいのもち	命の尊さを知り、命あるものを大切にする気持ち育てる。 (D 生命の尊さ)	体育(保健)
	【人のために】 22 ことぶき園に行ったよ	働くことの大切さを知り、進んで人のために働くこととする心構を育てる。 (C 勤労、公共の精神)	ボランティア活動
	【自信を持って正しいこと】 23 SL公開で	正しいと判断したことは、自信を持って行おうとする態度を養う。 (A 善悪の判断、自律、自由と責任)	
12月②	【日本の文化】 24 ぼくのおべんとう	我が国の伝統や文化のよさに気づき、愛し大切にしようとする心構を育てる。 (C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	食育
	【みんなの使う物】 25 黄色いかさ	みんなが使う物を大切にし、人に迷惑をかけない態度を養う。 (C 校則の尊重)	
1月③	【仲間を思う気高い心】 26 百羽のツル	仲間を思う心の気高さ、美しさに感動し、それを大切にしようとする心構を育てる。 (D 感動、畏敬の念)	
	【遠かな心】 27 六べえじいとちよ	相手のことを考え、進んで親切にしようとする心構を育てる。 (B 親切、思いやり)	
	【自分らしさ】 28 じゃがいもの歌	自分のよさを知り、伸ばしていこうとする心構を育てる。 (A 個性の伸長)	学級活動
2月⑥	【温かい家族】 29 ぼくのおばあちゃん	家族を敬い、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする態度を育てる。 (C 家族愛、家庭生活の充実)	国語(書写)
	【相手を理解する心】 30 たまちゃん、大すき	お互いに理解し合って、自分と異なる意見も大切にしようとする態度を養う。 (B 相互理解、寛容)	
	【美しく優しい心】 31 しあわせの王子	美しく優しい心に感動し、それを大切にしようとする心構を育てる。 (D 感動、畏敬の念)	
	【大切な命を生かして】 32 おじいちゃん、おばあちゃん	生きている今を大切にして、前向きに一生懸命生きようとする心構を育てる。 (D 生命の尊さ)	
3月③	【私たちのふるさと】 33 ふるさといいとこさかし	地域よさを発見し、国や郷土を大切にしようとする心構を育てる。 (C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	社会科「むかしのくらし」
	【やりぬく心】 34 まけるものか	つらいことがあっても強い意志を持って、やりぬこうとする心構を育てる。 (A 希望と勇気、努力と強い意志)	
	【感謝の気持ちを持って】 35 火越りのサクラなみ承	日頃の自分たちの生活を支えている人々を尊敬し、感謝する心構を育てる。 (B 感謝)	

# 第4学年の道徳指導計画

	【主題名】教材名	ねらい	主な関連活動
4月	① 【自信を持って】 1 ドッジボール	正しいと思うことは、自信を持って行おうとする態度を育てる。 (A 善悪の判断, 自律, 自由と責任)	全校集会
	② 【くじけず最後まで】 2 ぼくのへんしん	自分でやろうと決めたことは、粘り強くやりぬこうとする態度を養う。 (A 希望と勇気, 努力と強い意志)	音楽会
5月	③ 【思いやる心を養おう】 3 なにかお手つないでくれることはありますか?	相手のことを思いやり、読んで観切にしようとする心情を育てる。 (B 親切, 思いやり)	
	④ 【自然や動物の持つ力強さやすばらしさを感じ、それらを大切に守ろうとする心情を育てる。】 4 また来年も待ってるよ	自然や動物の持つ力強さやすばらしさを感じ、それらを大切に守ろうとする心情を育てる。 (D 自然愛護)	
	⑤ 【明るいいかで】 5 びびりが入った水そう	過ちは素直に認め、明るいいかで元気づけようとする心情を育てる。 (A 正直, 誠実)	係・当番活動
6月	⑥ 【相手と理解し合う】 6 合い言葉は「話せばわかる!」	相手と互いに理解し合って、自分と違う意見も大切にできる心情を育てる。 (B 相互理解, 寛容)	当番活動
	⑦ 【誰に対しても公平に】 7 となりのせき	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接しようとする心情を育てる。 (C 公正, 公平, 社会正義)	
	⑧ 【日本のよさ】 8 ふろしき	我が国に伝わる文化や伝統のよさを知り、それを大切にしていこうとする心情を育てる。 (C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)	総合的な学習の時間
	⑨ 【生きることの尊さ】 9 わたしの見つけた小さな幸せ	生命の尊さを感じ取り、生命を大切にしようとする心情を育てる。 (D 生命の尊さ)	
7月	⑩ 【よく考えて行動する】 10 いっしょになって、わらっちゃだ	よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする態度を育てる。 (A 節度, 節制)	
	⑪ 【みんなの役に立つ喜び】 11 「もっこ」をせおって	働くことのよさに気づき、進んで人のために働こうとする態度を育てる。 (C 勤労, 公共の精神)	ボランティア活動推進クラブ 福祉委員会活動
9月	⑫ 【美しいものに感動する心】 12 一びきのせみに「ありがとう」	自然の神秘や美しさに賞賞に感動する心情を育てる。 (D 感動, 畏敬の念)	夏休み 理科
	⑬ 【自然との共存】 13 「ふれあいの森」で	自然の不思議さを感じ取り、自然やそこにすむ動物等を大切にしようとする態度を育てる。 (D 自然愛護)	森林体験 社会科
	⑭ 【正しいと思ったことを】 14 全校遠足とカワセミ	正しいと判断したことは、自信を持って行おうとする態度を育てる。 (A 善悪の判断, 自律, 自由と責任)	遠足
	⑮ 【自分自身に対して正直に】 15 「あかいせみ」	自分に対する正直な心を大切にして、明るく元気に生活しようとする態度を育てる。 (A 正直, 誠実)	
10月	⑯ 【みんな違ってみんないい】 16 うめのき村の四人兄弟	自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする心情を育てる。 (A 個性の伸長)	
	⑰ 【みんなの場所を】 17 日曜日のパーベキュー	約束や社会のきまりの意義を考え、守っていこうとする態度を育てる。 (C 規則の尊重)	地域の環境 遠足
	⑱ 【受け継がれる生命】 18 パルケイの木	受け継がれる生命のたくましさやすばらしさを知り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。 (D 生命の尊さ)	
	⑲ 【よさを認め、助け合う心情】 19 ぼくらだってオーケストラ	友達と互いに理解し助けあひ合いながら、助け合おうとする心情を育てる。 (B 友情, 信頼)	音楽会 学芸会, 運動会



11月	①	【私たちのふるさと】 20 ふるさとを守った大イチョウ	地域のよさを考え、郷土を大切にしようとする心情を育てる。 (C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	社会科、総合的な学習の時間
		【人の心の気高さ】 21 花さき山	人の心の美しさや美意識に感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。 (D 感動、畏敬の念)	
	②	【自分を支えてくれる人々】 22 感謝しあいをつくって発表しよう	生活を支えてくれる人々を尊敬し、感謝する心情を育てる。 (B 感謝)	
		【自分の学校よさ】 23 秋空にひびくファンファーレ	自分の学校のよさに気づき、協力し合ってよりよい学校をつくろうとする態度を育てる。 (C よりよい学校生活、家庭生活の充実)	開校記念日 勤労感謝の集会
12月	②	【家族の助け合い】 24 お母さんのせいきゅう書	家族の一員として、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする態度を育てる。 (C 家族愛、家庭生活の充実)	成長の記録
		【相手の気持ちに寄り添って】 25 ゆうきの心配	相手の置かれている状況や気持ちを考え、進んで親切にしようとする心情を育てる。 (B 親切、思いやり)	
1月	③	【家族と協力して】 26 小さなお父さん	家族の一員としての自覚を持ち、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする心情を育てる。 (C 家族愛、家庭生活の充実)	
		【心の通い合い】 27 「ありがとう」の言葉	礼儀の重要性や大切さを知り、誰に対しても真心を持って接しようとする態度を育てる。 (B 礼儀)	
	④	【健全な生活態度】 28 目ざまし時計	自分で考えて、度を越さずことなく規則正しい生活をしようとする実践意欲と態度を育てる。 (A 節度、規則)	
2月	④	【友達への注意】 29 大きな鏡はかき	友達と互いに信頼し合い、助言し合いながら、友情を深めていこうとする心情を育てる。 (B 友情、信頼)	文集「友達づくり」
		【日本の文化と世界の文化】 30 世界の小学生	自国の文化と比べながら、他国の入や文化に関心を持ち、親しもうとする心情を育てる。 (C 国際理解、国際感覚)	国際理解教育 外国語活動
	⑤	【何よりも尊いもの】 31 奥津江ノ電 光の中へ	生命の尊さを感じ取り、生命を大切にしようとする心情を育てる。 (D 生命の尊さ)	
		【目標に向かって】 32 花丸手帳 ～水泳・池江…	自分で立てた目標の実現を目指して、強い心を持ち、粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。 (A 希望と勇気、努力と強い意志)	文集「将来の夢づくり」
3月	⑤	【思いやりを行動で】 33 ポロどいっしょ	相手の身になって人を思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。 (B 親切、思いやり)	縦割り活動 奉仕活動
		【携えて活動する】 34 点字メニューにちようせん	働くことの大切さを知り、携えてみんなのために働くこととする心情を育てる。 (C 勤労、公共の精神)	ボランティア活動
	⑥	【決まりを守るのは】 35 冊のバスでいりゅう所	約束や決まりの意義を理解し、これらを守ろうとする態度を育てる。 (C 規則の尊重)	

# 第5学年の道徳指導計画

	[主題名] 教材名	ねらい	主な関連活動
4月	[多くの人の支えに対して] 1 「ありがとう上手」に	私たちの生活が、互いの助け合いや協力できり立っていることを理解し、感謝する心情を育てる。(B 感謝)	勤労感謝の日、あいさつ週間
	[夢を實現するために] 2 いつも全力で	自分ができることを最後まで全力を尽くしてやりぬこうとする心情を育てる。(A 希望と勇気、努力と強い意志)	特別活動、体育
5月	[自分に読書に] 3 見えた答案	正直で隠ひななく、常に明るく誠実に行動しようとする態度を養う。(A 正直、誠実)	
	[自律的な行動] 4 満足の子どもたち	自由の大切さを理解し、自律的で責任のある行動をしようとする態度を養う。(A 善悪の判断、自律、自由と責任)	移動教室
	[はまりや情熱は誰のためのものか] 5 歌壇広場はだれのもの	法や決まりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たそうとする態度を育てる。(C 規則の尊重)	地域子ども会
6月	[生命を救う仕事] 6 お父さんは救急救命士	働くことや社会に奉仕することの大切さを知って意義を理解し、公共のために役立つことをしようとする心情を育てる。(C 勤労、公共の精神)	社会科 体育(保健)
	[美しい月夜の景色] 7 ひさの星	人間には強さや気高く生きようとする心があることを理解し、美しい心に感動する心を育てる。(D 感動、畏敬の念)	
	[公平な心] 8 新校生がやってきた	誰に対しても偏見を持つことなく、公正公平にし、正義の實現に努めようとする態度を育てる。(C 公正、公平、社会正義)	
7月	[自然を愛護する] 10 一ふみ十年	自然の偉大さを理解し、自然を愛護する態度を養う。(D 自然愛護)	理科
	[亡くなった人が残したものを] 11 おばあちゃんが残したものを	亡くなった人が残したものを自分の生き方にいかして、自他の生命を尊重して生きていこうとする心情を育てる。(D 生命の尊厳)	
9月	[役割を果たす] 12 かれてしまったヒマワリ	集団の中での自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする態度を育てる。(C よりよい学校生活、集団生活の充実)	児童会活動、理科
	[探求する心] 13 ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ	積極的に新しいものを求める態度の大切さに気づき、倫理を探究しようとする心を育てる。(A 真理の探究)	自由研究 理科
	[権利と義務について考える] 14 これって「けんり」? これって「ぎむ」?	権利と義務の関係について理解し、集団生活を送る上で自他の権利を尊重し合い、自分の義務を遂行して果たそうとする態度を育てる。(C 規則の尊重)	学級会活動 児童会活動
10月	[生きる喜び] 15 そういうものにわたしはなりた い	人間の強さや気高さに触れ、人間としてよりよく生きることの喜びに気づくことができるようになる。(D よりよく生きる喜び)	国語
	[温かい家庭] 16 お父さんのおべんとう	家族の幸せを考えて、進んで役立とうとする態度を育てる。(C 家族愛、家庭生活の充実)	保護者会、家庭科
10月	[世界の人々のために] 17 「折り紙大使」	日本人としての自覚を持って、積極的に外国の人々に関わり、国際理解に努めようとする心情を育てる。(C 国際理解、国際貢献)	総合的な学習の時間
	[挨拶の大切さ] 18 オーストラリアで学んだこと	相手の立場や気持ちを考え、礼儀正しく心の込められた接し方をしようとする態度を育てる。(B 礼儀)	あいさつ運動 一斉運動
	[広い心で] 19 名匠、順南	互いに高め合うために相手の立場や気持ちを受け入れ、広い心で人と接しようとする態度を養う。(B 相互理解、寛容)	

11月	①	【希望を持って】 20 ベートーベン	困難や失敗にくじけず、希望を持って、自分の夢を実現しようとする意欲を高める。 (A 希望と勇気、努力と強い意志)	音楽
		【社会や公共のために役立つ】 21 わたしのボランティア体験	社会に奉仕する喜びを知って、公共のために役に立ちたいとする心情を育てる。 (C 勤労、公共の精神)	総合的な学習の時間
		【ものを大切にすること】 22 流行おくれ	自分の生活を見直し、物を大切にすることのよさに気づいて、夢のある生活をしようとする態度を養う。(A 節度、節制)	社会科学見学 移動教室等
		【理解し合う心】 23 心のレシーブ	男女互いに理解し合って友情を育て、協力しようとする心情を育てる。 (B 友情、信頼)	学習活動、体育
12月	②	【かけがえのない命】 24 コースチャャバウヤを教え	自他の生命を尊重し、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。 (D 生命の尊さ)	交通安全
		【日本を愛する心】 25 正月料理	日本の伝統と文化のよさに気づき、日本と日本人の心を受取る心情を育てる。 (C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	社会科、正午行事
1月	③	【相手の立場に立って親切に】 26 くずれ落ちただんボール箱	困っている人を見るときは、その人の身になって、親切にしようとする態度を養う。 (B 親切、思いやり)	
		【自分のよさを伸ばす】 27 感動したこと、それかぼくの作品	自分の長所を知り、よりよく伸ばそうとする態度を育てる。 (A 同生の伸長)	図画工作
		【郷土を愛する】 28 親から子へ、そして孫へと	郷土に伝わる伝統と文化に気づき、それらを愛し、受け継いでいこうとする態度を育てる。(C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	地域の祭り 図画、社会科
2月	④	【健康を見直す】 29 「ソウアアのおたごしまいさんさんさんさん	食らの健康を見直し、節度を守って元気に生活しようとする態度を養う。 (A 節度、節制)	体育(保健)
		【生きているからこそ】 30 タマのあたりまえ	生きていることのすばらしさや喜びを感じることで、かけがえのない生命を大切に生きていこうとする心情を育てる。(D 生命の尊さ)	体育(保健)
		【同じ地球に生きている】 31 同じ空の下で	他国の人や異文化の中に、自分と共有される多くの感情や思いがあることに気づき、それを大切にしながら国際親善に努めようとする心情を育てる。(C 国際理解、国際親善)	ユニセフ基金 外国語
		【交流のために】 32 友の命	友達と互いに信頼し合い、その信頼を裏切らない行動をしようとする心情を育てる。 (B 友情、信頼)	
3月	⑤	【大自然の中の奇跡】 33 一本松は通った	人間の考えを超えた崇高さや美しさ、気高さに感動する心を育てる。 (D 感動、畏敬の念)	理科、社会科 安全指導
		【生物を大切に】 34 イルカの泳を守ろう	自然のすばらしさを知り、自然や動植物を大切にしようとする態度を養う。 (D 自然愛護)	海の日、理科
		【わたしの学校】 35 バトンをつなげ	学校に愛着を持ち、学校の一員としての自覚を持って、自分たちの手で学校をよりよくしようとする心情を育てる。(C よりよい学校生活、集団生活の充実)	6年生を送る会

# 第6学年の道徳指導計画

月	〔主題名〕教材名	ねらい	主な関連活動
4月	② 〔礼儀は心のあらわれ〕 1 心を形に	礼儀は心の様子をあらわすことを知り、心のこもった礼儀を大切にして、時と場に応じた礼儀にかなった生活をしようとする心情を育てる。(B 礼儀)	あいさつ運動
	〔自分らしさを伸ばす〕 2 あこがれのパティシエ	自分の個性や長所を知り、それを積極的に伸ばして将来に生かしていこうとする心情を育てる。(A 個性の伸長)	総合的な学習の時間
5月	③ 〔みんなに奉仕する心〕 3 うちら「ネコの手」ボランティア	働くことや社会に奉仕することの意義を知り、進んで人のためになる仕事をしようとする心情を育てる。(C 勤労、公共の精神)	ボランティア活動 社会科
	〔家族の幸せのために〕 4 おばあちゃんのだがしもの	祖父母や父母を敬愛し、思いやりを持って行動しようとする態度を育てる。(C 家族愛、家庭生活の充実)	家庭科
	〔伝統や文化を受けついで〕 5 白神山地	郷土の文化や伝統を育てた先人の努力を知り、郷土のよさを大切にして、郷土を愛する心情を育てる。(C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	理科、社会科
6月	④ 〔自然を守る〕 6 愛華さんからのメッセージ	自然と人間生活の関わりを理解し、自然を大切にしようとする態度を養う。(D 自然愛護)	リサイクル運動 地域清掃
	〔相手の立場に立って考える〕 7 みんないっしょだよ	誰に対しても思いやりの心を持ち、いま自分のできる範囲いっぱいのことをしようとする心情を育てる。(B 親切、思いやり)	
	〔平和と国際理解のために〕 8 白旗の少女	世界の人人々と共存していることを理解し、国際理解に積極的に努めようとする心情を育てる。(C 国際理解、国際親善)	外国語活動 社会科
	〔感謝の心を持つ〕 9 土石流の中で救われた命	日々の生活が、家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとする心情を育てる。(B 感謝)	勤労感謝の日
7月	⑤ 〔友達と理解し合う〕 10 ばかじゃん	互いに信頼し、学び合って、良の友誼を築いていこうとする態度を育てる。(B 友情、信頼)	学級活動
	〔規則の尊重〕 11 ピアノの音が……	権利と義務の両面を考え、相手の権利を尊重するとともに自分の権利を正しく主張し、併せて、自分に課せられた義務を果たそうとする態度を養う。(C 規則の尊重)	代表委員会 学級活動
9月	⑥ 〔生命の尊厳〕 12 命の重さはみな同じ	「甲斐さん」の気持ちや活動について考えることを通して、命はかけがえのないものであることを知り、動物の命を大切にしようとする心情を育てる。(D 生命の尊厳)	
	〔世界の人々のために〕 13 エンザロ村のかまど	日本人としての自覚や誇りを持ち、進んで他国の人々とつながり、国際親善に貢献して努めようとする態度を養う。(C 国際理解、国際親善)	社会科
	〔自由と責任について考える〕 14 都学旅行の夜	自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重するとともに、責任ある行動について自律的に判断する力を育てる。(A 善悪の判断、自律、自由と責任)	移動教室 修学旅行
10月	⑦ 〔規則の尊重〕 15 皇阿母の二るい灯	社会の一員としての自覚を持って公徳を守り、進んでよりよい社会を作ろうとする意欲を高める。(C 規則の尊重)	清掃活動 クリーンデー
	〔なりたい自分に〕 16 ピアニスト 辻井伸行	目標を立て、希望や夢に向かって、諦めずに努力しようとする心情を育てる。(A 希望と勇気、努力と強い意志)	音楽
	〔自分の生活を見直して〕 17 お母さん、お願いね	生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り、節制に心がける態度を養う。(A 節度、節制)	家庭科
	〔異性の理解と協力〕 18 言葉のおくりもの	異性について理解し、互いに信頼し学び合って友誼を深め、よりよい人間関係を築いていこうとする態度を育てる。(B 友情、信頼)	運動会、学芸会
10月	⑧ 〔命の大切さ〕 19 お母さんへの手紙	生命のかけがえのなさを自覚するとともに、人間誕生の喜びや死の重さについて知り、よりよく生きようとする心情を育てる。(D 生命の尊厳)	

11月	④	【明るく生きる】 20 手島静	どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るく生活をしようとする心情を育てる。(A 正直、誠実)	
		【公正、公平、社会正義】 21 田中正造	自分の権限にとらわれることなく、誰に対しても公正公平な態度で、社会正義の実現に努めようとする心情を育てる。(C 公正、公平、社会正義)	社会科
		【集団の中の自分の役割】 22 せんばいの心をうけついで	塾と生徒としての役割を自覚し、学校に愛着を持ち、進んで立派な学校をつくろうとする態度を養う。(C よりよい学校生活、集団生活の充実)	開校記念日
		【困難を乗り越えようとする人間性や気風】 23 眞足の聖火ランナー ～ブリス・ムーア～	人間には弱さや、それを乗り越えようとする強さや気風があることを理解し、人間として生きる喜びを感じ、よりよく生きようとする心情を育てる。(D よりよく生きる喜び)	国際理解教育 外国語
12月	②	【伝統や文化を受け継いで】 24 新しい日本に～龍馬の心	画や郷土の発展に尽くした先人の努力を知り、日本人としての自覚を持って伝統と文化を大切にし、受け継いでいこうとする態度を育てる。(C 伝統と文化の尊重、画や郷土を愛する態度)	読書的な学習の時間
		【私たちを導いた先人の志】 25 夜空～光の線	人間の力を越えた大いなるものに気づき、感動する心を育てる。 (D 感動、畏敬の念)	理科学習 天体観測
1月	④	【逞しさを誇る】 26 蝦のしよく食	節度な心を持ち、広い心で人の気持ちや立場を察し、相手の立場に立って考えようとする心情を育てる。(B 相互理解、寛容)	
		【自然を守る】 27 タマゾン川	自然環境に関わる課題について理解し、人と動植物との望ましい関わり方を考え、自ら自然環境を大切にしていこうとする心情を育てる。(D 自然愛護)	環境教育、理科、社会科
		【親切の大切さ】 28 へに届いた「どうぞ」のひとこと	相手の立場に立って思いやりの心を持ち、親切にしようとする心情を育てる。 (B 親切、思いやり)	
2月	④	【率直な反省】 29 「すみません」でいい	日常生活を振り返り、自ら節度を守り節制に心がけようとする態度を養う。 (A 節度、節制)	
		【人命を守るために努力する】 30 東京大豆展の中で	生きとし生けるものを慈しみ、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を高める。 (D 生命の尊厳)	歴史学習
		【努力の尊さ】 31 夢	より高い目標に向かって、くじけないで努力しようとする態度を養う。 (A 希望と勇気、努力と強い意志)	
		【崇高なものへの感動】 32 青の洞門	崇高なものに感動する心や、人間の力を越えた出来事に対する畏敬の念を持つ心を育てる。(D 感動、畏敬の念)	読書活動
3月	④	【人々のために尽くす】 33 小さな運送船「ひまわり」	身近な集団の中で自分の役割と責任を主体的に果たそうとする心情を育てる。 (C よりよい学校生活、集団生活の充実)	社会科、奉仕活動
		【世のためになる仕事】 34 鞍守の巻	働くことの意義を理解し、社会のために役立つようとする態度を養う。 (C 勤労、公共の精神)	社会科、理科 読書の学習の時間
		【新しいものを生み出す】 35 まんがに命を～手塚治虫	自己をより創造的に発展させ、進んで新しいものを生み出そうとする考えや意欲を育てる。(A 真理の探究)	

全統計画制作成資料 1冊 組画と教科書との関連 (活動時間用)

本校を主として 展開の計画 が成るもの等 印刷部関係	教科書、習習 組画、画(小)り 印刷部関係 が成るもの等 印刷部関係
-------------------------------------	--

項目	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊
1冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊
2冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊
3冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊
4冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊
5冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊
6冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊
7冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊
8冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊
9冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊
10冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊



全体計画別添作成資料 2年 進徳と養科等との関連(指導時間組)

低学年の重点指導内容  
 1.各教科の展開、順序、量と生徒  
 2.礼儀

大正代、皇朝  
 55年切、悪いやり  
 で地獄の幕  
 1)正徳の道々  
 2)養科

全学年を通しての  
 重点指導内容

各要素の中心教養は添削時間表を示す。

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
国語	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解	1)国語の基礎 2)漢字の読み書き 3)文章の理解
算数	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習	1)算数の基礎 2)数の性質 3)計算の練習
理科	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習	1)理科の基礎 2)身の周りの科学 3)実験の練習
社会	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化	1)社会の基礎 2)日本の歴史 3)世界の文化
音楽	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏	1)音楽の基礎 2)唱歌の練習 3)楽器の演奏
美術	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作	1)美術の基礎 2)絵画の練習 3)工芸の製作
体育	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導	1)体育の基礎 2)運動の練習 3)健康の指導
外国語	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解	1)外国語の基礎 2)簡単な会話 3)文化の理解
総合	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育	1)総合的な学習 2)探究活動 3)キャリア教育





全体計画別業科 3年 道徳と教科等との関連（指導時間表）

中学生の  
道徳教育の  
目標

道徳、道義、  
誠意、思いやり  
人間の尊厳  
社会の意義  
生活の志  
国際理解

※非課税の○数字は担当時間数を示す。

学年	道徳	国語	算数	理科	社会	英語	音楽	美術	体育	保健	総合	特別活動	その他
1年	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
2年	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
3年	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
合計	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300















漢字	音	形	義	類	部	筆	初	中	終	類	部	筆	初	中	終
漢	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
漢	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
漢	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
漢	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
漢	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ
漢	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
漢	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
漢	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
漢	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
漢	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ
漢	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
漢	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
漢	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
漢	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
漢	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ
漢	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
漢	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
漢	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
漢	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
漢	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ

学年別年間指導計画(小学1年)

○ 基礎的知識・技能	(1-1) 読書や書きなどから情報を求めることができる。 (1-2) 意味を考えて、読みしかりすることができる。
○ 思考力・判断力・表現力	(2-1) 情報を整理して分けたり、整理したりすることができる。 (2-2) 分類しやすく表現することができる。 (2-3) できるよきになったことに基づいて表現することができる。
○ プログラミング的思考	(3-1) 手順に従って考えたり、課題の解決方法を考えたりすることができる。 (3-2) 問題の解決や結果を予想し、結果(予想)と一致する)や仮説(期待値)を導いて考えたりすることができる。
○ 情報モラル	(4-1) 自分や他人の個人情報や氏名にも、メールを添って発信にコンピュータ上でつながりすることができる。 (4-2) コンピュータやインターネットの基本的なルールやマナーがわかる。

	4月 4月	5月 5月	6月 6月	7月 7月	8月 8月	9月 9月	10月 10月	11月 11月	12月 12月	1月 1月	2月 2月	3月 3月
国語			○ことばのつくり (1-1)			○ことばのつくり (1-2)	○ことばのつくり (1-3)	○ことばのつくり (1-4)		○ことばのつくり (1-5)	○ことばのつくり (1-6)	○ことばのつくり (1-7)
算数	通年 算数や理科などの知識をたどり、そのなかで発見する(1)学習したことをもとめて振り返り学習する(2)コンテンツの活用(3)教科書以外の資料(4)インターネットの活用。											
						○数のつくり (2-1)						○数のつくり (2-2)
生活	通年 生活や活動などの知識をたどり、そのなかで発見する(1)学習したことをもとめて振り返り学習する(2)コンテンツの活用(3)教科書以外の資料(4)インターネットの活用。											
				○生活のつくり (3-1)	○生活のつくり (3-2)	○生活のつくり (3-3)			○生活のつくり (3-4)	○生活のつくり (3-5)	○生活のつくり (3-6)	○生活のつくり (3-7)
図工	通年 図工のつくり(1,2)											
音楽	通年 音楽のつくり(1)											
体育	通年 体育のつくり(1)											
外国語	通年 デジタル教材(1,2)											
情報教育	○デジタル教材(1,2) ○デジタル教材(1) ○デジタル教材(2) ○デジタル教材(3) ○デジタル教材(4) ○デジタル教材(5)											
								○デジタル教材 について学ぶ 活動(1)				

学年別年間授業計画【小学2年】

○ 基礎的知識・技能	(イ) 平易な事象と事象の関係を基盤とすることができる。 (ロ) 目的を持って、認識し、活用することができる。
○ 思考力・判断力・表現力	(エ) 情報を整理して受け取り、整理し、活用することができる。 (エ) 分かりやすく表現することができる。 (エ) できるように工夫することはできる。
○ プレゼンテーション能力	(ロ) 1) 整理して見せたり、説明の順序などを工夫することができる。 (ロ) 2) 問題の整理や説明のために、図表の活用などによる、表現（図や絵）を用いて表現することができる。
○ 情報モラル	(ロ) 1) 自分や他の人たちの情報を大切に、ルールを守って安全にコンピュータなどを扱うことができる。 (ロ) 2) コンピュータやインターネットの基本的なルールやマナーを知ることができる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
言語			○ことばで遊ぶ まねかた (1-2) ○ことばで遊ぶ まねかた (1-3)				○ことばで遊ぶ まねかた (1-1)	○ことばで遊ぶ まねかた (1-2)	○ことばで遊ぶ まねかた (1-3)			○ことばで遊ぶ まねかた (1-1) ○ことばで遊ぶ まねかた (1-2)	
算数	学年 図形や図表などの図形と図表、データの整理や集約など（1）学習したことをもとめて活用することができる（ロ） コンテンツ、スキル、知識（2）（3）（4）（5）（6）（7）（8）（9）（10）（11）（12）												
生活		○生活の中で 生活する (2-1)				○生活の中で 生活する (2-2)		○生活の中で 生活する (2-3)	○生活の中で 生活する (2-4)			○生活の中で 生活する (2-5)	
図工	学年 作るものや材料など（1）												
音楽	学年 表現など（1）												
体育	学年 運動など（1）												
外国語	学年 デジタル教材など（1、2）												
情報教育	○デジタル教材（1、2） ○デジタル教材（3） ○デジタル教材（4）												
		○デジタル教材 について 学習（3）						○デジタル教材 について 学習（4）					

学年別年間指導計画【小学3年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 調査資料・インターネットなどから情報を集めることができる。 (I-2) 従手を目的に応じて発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間40文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 情報加工のつぎつぎを見つけたり、表やグラフで整理することができる。 (II-2) 利手や目的に合わせて、適切に発信することができる。 (II-3) 発着点を考えることができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 問題を分解して考えたり、問題の解決方法を考えたりすることができる。 (III-2) コンピュータとプログラムの関係や接続性に理解し、順次、反復をきん在プログラムを考案することができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考慮して適切に活用することができる。 (IV-2) 生活の中での必要な情報セキュリティを理解することができる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語							○「おはなしの宝庫」の読み取り(1-1)				○分冊の「おはなしの宝庫」の読み取り(2-1)	○「おはなしの宝庫」の読み取り(2-2)
社会	道徳 道徳や慣習などの伝統と風習、ネット上の課題を認識する(1) 学習したことと自分の関心した内容を(2) コンテンツが「みんな」(教科書に掲載されているQRコード)の活用。											
算数	道徳 コンテンツが「みんな」(教科書に掲載されているQRコード)の活用。											
理科	道徳 実験や観察などの記録と、ネット上の活用(1) 学習したことと自分の関心した内容を(2) コンテンツが「みんな」(教科書に掲載されているQRコード)の活用。											
図工	道徳 作品の制作と発表(1)											
音楽	道徳 表現の発表(1)											
体育	道徳 運動の発表(1)											
外国語	道徳 デジタル教材の活用(1, 2)											
総合的な学習の時間	○キーボード操作(ローマ字入力)(1-3) ○情報モラル(IV) ○プログラミング(III)											
	○情報モラルについての理解(IV)										○情報モラルについての理解(IV)	

学年別年間授業計画【小学4年】

○ 基礎的知識・技能	(ア-1) 辞書や辞書・インターネットなどから情報を集めることができる。 (イ-2) 指導や質問に適切に答えることができる。 (ウ-3) キーボード文字入力(1分間の文字数)
○ 思考力・判断力・表現力	(エ-1) 情報同士の違いを見分けたり、表やグラフで整理することができる。 (エ-2) 相手や目的に合わせて、文法に注意することができる。 (エ-3) 文章を読み解くことができる。
○ アラビア数字の活用	(カ-1) 物事を分類して考えたり、問題の解決方法を考えたりすることができる。 (カ-2) コンピュータやプログラムの操作を目的に理解し、適切に活用できるプログラムの考え方を考えることができる。
○ 情報モラル	(ク-1) 情報発信の利便性と危険性を理解し、自分や他人への影響を考慮して発信に活用することができる。 (ク-2) 生活の中で必要な事項をセキュリティーで保護することができる。

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語		OK4-1-1 読みかた (1-2,3,4,5-2)	OK4-1-2 読みかた (1-1)	OK4-1-3 読みかた (1-1)	OK4-1-4 読みかた (1-1,2,3,4-2)	OK4-1-5 読みかた (1-1,2,3,4-2)	OK4-1-6 読みかた (1-1,2,3,4-2)	OK4-1-7 読みかた (1-1,2,3,4-2)	OK4-1-8 読みかた (1-1)	OK4-1-9 読みかた (1-1)	OK4-1-10 読みかた (1-2)	
社会	読み 読みかたの練習(国語)と、社会科の学習(1)学習(1)と社会科の学習(1)学習(1) (2)学習(1)と社会科の学習(1)学習(1)											
算数	読み コンテンツの読み(国語)と、算数の学習(1)学習(1)と算数の学習(1)学習(1)											
理科	読み 読みかたの練習(国語)と、理科の学習(1)学習(1)と理科の学習(1)学習(1) (2)学習(1)と理科の学習(1)学習(1)											
図工	読み 読みかたの練習(国語)											
音楽	読み 読みかたの練習(国語)											
家庭科	読み 読みかたの練習(国語)											
体育	読み 読みかたの練習(国語)											
外国語					Unit 1 What do you like to eat? (1-2)		Unit 2 What do you want? (1-2)				Unit 3 What do you like to do? (1-2)	
総合的な学習の時間	OK4-1-11 読みかた (1-1,2,3,4,5-2) OK4-1-12 読みかた (1-1,2,3,4,5-2)											

学年別年間指導計画(小学5年)

○ 基礎知識・技能	(E-1) 情報を整理し、まとめる。 (E-2) 相手や目的に応じて簡明に発信する。 (E-3) キーワード文字入力(1分間60文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(E-1) 問題を整理し、その解決のために 調査や整理等から過程を収集する。 (E-2) 問題解決のつながりを見つけたり、表やグラフを用いて整理する。 (E-3) 問題の解決方法をほかにして表現・発表・発信する。 (E-4) 以否をも分析し考える。
○ プログラミング技能者	(E-1) 図表、分岐、重複を含んだプログラムの作成を行い、評価・改善ができる。 (E-2) 習得技術の価値を自分の身の回りの事情と関連付けて考えることができる。
○ 情報モラル	(E-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考慮して適切に活用する。 (E-2) 出典の明記と著作権となる権利をキリキリを認識する。 (E-3) 情報社会での情報技術の働きや産業や国民生活の関わりを理解することができる。

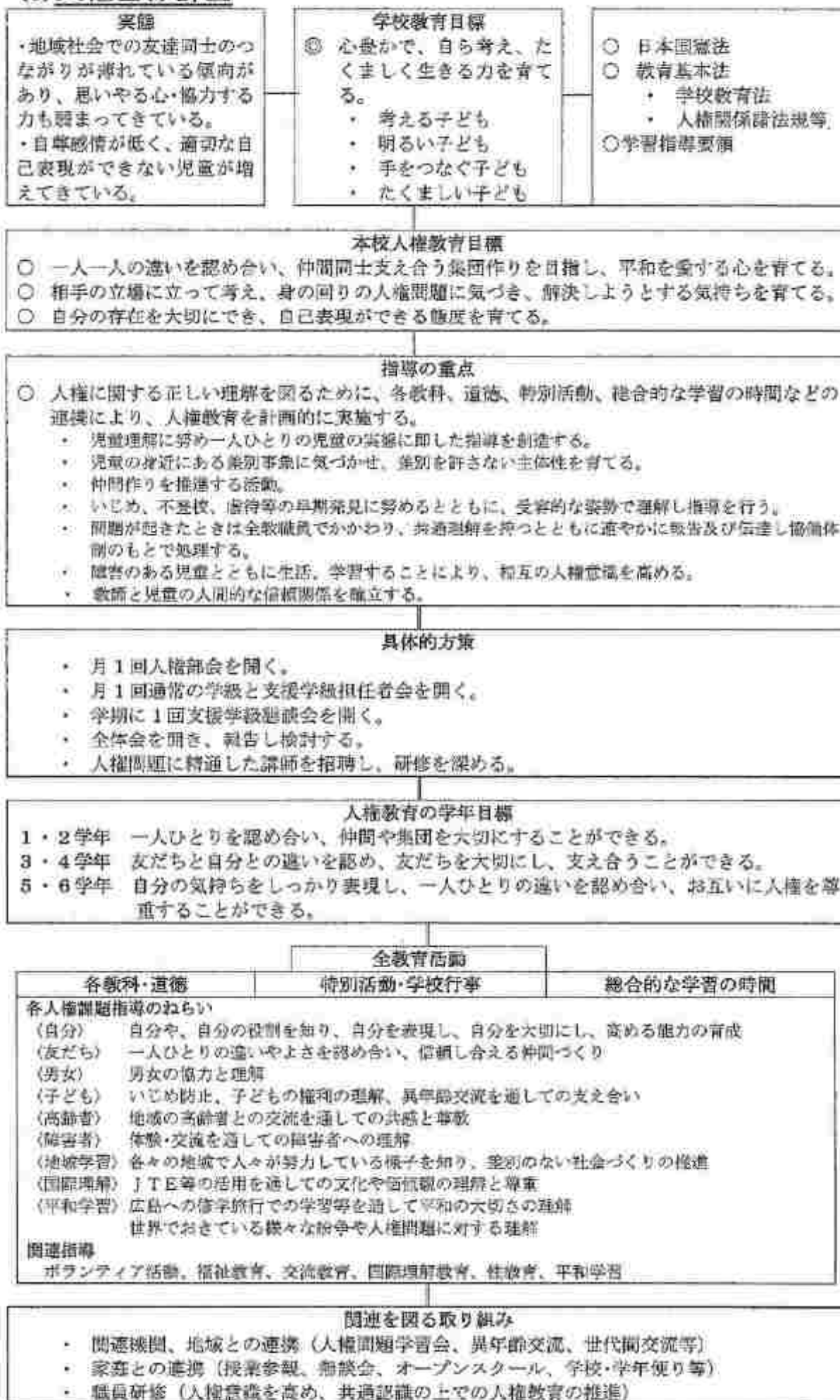
	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語			○国語読解について話し合う(1-1, 2-1, 3)	○国語読解を話し合う(1-1)	○国語を学ぶための話し合い(1-1, 2)	○国語の文化を話し合う(1-1, 2)	○国語の文化を話し合う(1-1, 2)	○国語の文化を話し合う(1-1, 2)			○国語の文化を話し合う(1-1, 2)	
社会	国語 国語や国語などの用語を、ネット上の情報を活用し、学習したことをまとめたり発表したりする。 コミュニケーション(教科書に掲載されているQRコード)の活用。											
社会	○国語の文化を話し合う(1-1)							○国語の文化を話し合う(1-1, 2)	○国語の文化を話し合う(1-1, 2, 3)		○国語の文化を話し合う(1-1)	
算数	国語 コミュニケーション(教科書に掲載されているQRコード)の活用。											
算数	○国語の文化を話し合う(1-1)	○国語の文化を話し合う(1-1)				○国語(1-1)		○国語の文化を話し合う(1-1)			○国語の文化を話し合う(1-1)	
理科	国語 国語や国語などの用語を、ネット上の情報を活用し、学習したことをまとめたり発表したりする。 コミュニケーション(教科書に掲載されているQRコード)の活用。											
図工	国語 国語の活用。											
音楽	国語 国語や国語などの用語を、ネット上の情報を活用し、学習したことをまとめたり発表したりする。 コミュニケーション(教科書に掲載されているQRコード)の活用。											
音楽												
体育	国語 国語の活用。											
体育												
外国語					○Unit 4 What time do you get up? (1-2)	○Unit 1 What do you want to do? (1-2, 3-1)		○Unit 7 What would you like? (1-1, 3)	○Unit 5 What is the gym? (1-3)	○Unit 6 What is the brother? (1-2)		
総合的な学習の時間	○キーボード操作(1-3) ○情報モラル(M) ○プログラミング(M)											
総合的な学習の時間	○国語モラルについて話し合う(1-1)							○国語モラルについて話し合う(1-1)				

学年別学習指導計画【小学6年】

基礎的知識・技能	(E-1) 問題を整理して分析する。 (E-2) 相手の立場に立って対話的に発信する。 (E-3) キーボード文字入力（1学期60文字程度）
思考力・判断力・表現力	(E-1) 問題を発見し、その解決のために 調査や資料等から情報を収集する。 (E-2) 情報同士をつなぐりを見つけてなり、表やグラフを用いて整理する。 (E-3) 問題の解決策を想い出しにして整理・発信・発信する。 (E-4) 検索点を整理し等える。
プログラミング的見地	(E-1) 指示・判断、変化を主とするプログラムの作成を行い、評価・改善が出来る。 (E-2) 情報技術的価値を自分の身の周りの生活と関連付けて考えられること出来る。
情報モラル	(E-1) 情報手段の利便性や危険性を認識し、自分や他人への影響を考えて適切に使用する。 (E-2) 生活の中で必要な情報セキュリティを確保する。 (E-3) 情報社会での情報技術の進歩や発展や国民生活の豊かさを認識すること出来る。

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語							国語の目 録の作成 目次を導く (E-1)		国語の目 録の作成 (E-3)	国語の目 録の作成 (E-3)	
社会	国語 国語や国語などの国語を、ネット上の情報を活用し、学習したことをもとめて活用し、活用する。 コンテンツも活用（教科書に活用されているQRコード）の活用。										
算数	国語 コンテンツも活用（教科書に活用されているQRコード）の活用。										
理科	国語 国語や国語などの国語を、ネット上の情報を活用し、学習したことをもとめて活用し、活用する。 コンテンツも活用（教科書に活用されているQRコード）の活用。										
国語	国語 国語の活用を、活用する。										
音楽	国語 国語や国語などの国語を、ネット上の情報を活用し、学習したことをもとめて活用し、活用する。 コンテンツも活用（教科書に活用されているQRコード）の活用。										
家庭科		国語の目 録の作成 (E-1)				国語の目 録の作成 (E-2)					
体育	国語 国語の活用を、活用する。										
外国語						国語 This is my name (E-1)			国語 What do you want to be (E-1)	国語 Junior High School Life (E-1)	
総合的な 学習の時間	国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1) 国語の目録の作成 (E-1)										

## (5) 人権全体計画





人権教育の年間指導計画

	男女平等教育	障がい者理解・特別支援教育	平和教育	在日外国人教育・国際理解教育	地域学習・平和教育	集団づくり	その他
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「さん」の呼び方</li> <li>○肩を並べて並ぶ</li> <li>○右の足で靴をきかせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザイン</li> <li>の取り入れ</li> <li>○いろいろなまなごころのこま</li> <li>を知らう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○折り紙作り</li> <li>○平和の輪を描く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ほかの国のまなごころ</li> <li>(英)</li> <li>『キム・チム・ム・ム』『セブンスステップ』(英)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳科「平和」との関わり</li> <li>○「まなごころ」を題材にした活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ほかの国のまなごころ</li> <li>を知らう</li> <li>○手紙作り</li> <li>○折り紙</li> <li>○ペア学習交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活アンケート</li> <li>【1,2,3学期】</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「へん」の呼び方【1学期】</li> <li>○肩を並べて並ぶ【1学期】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザイン</li> <li>の取り入れ【1学期】</li> <li>○いろいろなまなごころのこま</li> <li>を知らう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○折り紙作り</li> <li>【10月】</li> <li>○平和の輪を描く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語の歌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域学習の取り組み</li> <li>(英)【9月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クラス遊び</li> <li>【1学期】</li> <li>○ペア学習交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活アンケート</li> <li>【1,2,3学期】</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「さん」の呼び方【1学期】</li> <li>○肩を並べて並ぶ【1学期】</li> <li>○右の足で靴をきかせる【1学期】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザイン</li> <li>の取り入れ【1学期】</li> <li>○道徳教育</li> <li>○いろいろなまなごころのこま</li> <li>を知らう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○もいちゃんのおけいこ</li> <li>(英)</li> <li>○折り紙作り</li> <li>【10月】</li> <li>○平和の輪を描く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳科「平和」との関わり</li> <li>(英)【1,2学期】</li> <li>○道徳科「まなごころ」について(英)【3学期】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クラス遊び</li> <li>【1学期】</li> <li>○道徳科まつり</li> <li>【11月】</li> <li>○ペア学習交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活アンケート</li> <li>【1,2,3学期】</li> </ul>
4 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団づくりのやり方【1学期】</li> <li>○先生に遊ぶ(英)【2月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザイン</li> <li>の取り入れ【1学期】</li> <li>○集団づくりのやり方【1学期】</li> <li>○おもしろいこと</li> <li>【10月】</li> <li>○アイマスプロジェクト【11月】</li> <li>○ともに学びともに育つクラス作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一つの紙(英)</li> <li>【9月】</li> <li>○平和ビデオ鑑賞【7月】</li> <li>○折り紙作り</li> <li>【10月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳科「平和」との関わり</li> <li>(英)【4月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団づくりのやり方【1学期】</li> <li>○道徳科まつり</li> <li>【11月】</li> <li>○ペア学習交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活アンケート</li> <li>【1,2,3学期】</li> </ul>
5 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳科「平和」との関わり</li> <li>(英)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザイン</li> <li>の取り入れ【1学期】</li> <li>○ともに学びともに育つクラス作りについて考えよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○折り紙作り</li> <li>【10月】</li> <li>○平和ビデオ鑑賞【11月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語活動</li> <li>○世界のあいさつ(英語)</li> <li>○世界の食卓にしよう</li> <li>(英)</li> <li>○外国語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団づくりのやり方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳科まつり</li> <li>【11月】</li> <li>○ペア学習交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活アンケート</li> <li>【1,2,3学期】</li> </ul>
6 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域学習の推進</li> <li>○社会科</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザイン</li> <li>の取り入れ【1学期】</li> <li>○ともに学びともに育つクラス作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平和学習(英語)【11月】</li> <li>○日本国定語(英)</li> <li>○折り紙作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語活動</li> <li>○NGO, NPO, ユニセフ(英)</li> <li>○世界の平和日本(英)</li> <li>○外国語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳科「平和」との関わり</li> <li>【11月】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳科まつり</li> <li>【11月】</li> <li>○ペア学習交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活アンケート</li> <li>【1,2,3学期】</li> </ul>

※山之上小平和の日…6年生の修学旅行報告会の日程に合わせて、全校で平和について考える学習に取り組む

## 特別活動の年間指導計画

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級開き</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級開き</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級開き</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級開き</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級開き</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> <li>・キャンプの取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級開き</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> <li>・キャンプの取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>
8・9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・運動会の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・運動会の取り組み</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・運動会の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・運動会の取り組み</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・運動会の取り組み</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・運動会の取り組み</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> <li>・修学旅行の取り組み</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級文化活動</li> <li>・運動会の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級文化活動</li> <li>・学級係活動</li> <li>・運動会の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級文化活動</li> <li>・運動会の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級文化活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> <li>・運動会の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級文化活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> <li>・運動会の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・修学旅行の取り組み</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> <li>・運動会の取り組み</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会（経済安全）</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会（経済安全）</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会（経済安全）</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会（経済安全）</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会（経済安全）</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会（経済安全）</li> <li>・学級係活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> <li>・6年生を送る会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> <li>・6年生を送る会</li> <li>・学級係活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> <li>・6年生を送る会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> <li>・6年生を送る会</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> <li>・6年生を送る会</li> <li>・卒業式準備</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・ペア学年交流</li> <li>・6年生を送る会</li> <li>・卒業式の取り組み</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・6年生を送る会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・学級係活動</li> <li>・6年生を送る会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・6年生を送る会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・6年生を送る会</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・卒業式</li> <li>・入学式の取り組み</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級会</li> <li>・卒業式の取り組み</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・委員会活動</li> </ul>

(6) 特別活動全体の指導計画



## 令和5年度 総合的な学習の時間 全体計画（改訂）

### 学校教育目標

『わかる・できる・考える』子ども

～知・徳・体の生きる力を育てる～(たしかな学力・豊かな心・健やかな体)

### 本校の総合的な学習の時間の目標

「地域や学校の特色ある生活や学習についての探究的な学習を通して児童が多面的に迫及する姿勢や考え方を身につけ、主体的に課題を見出し、互いに協力し合って課題解決にあたり、よりよい学習集団を形成するとともに、自己の生き方を考えることができるようにする。」

### 育てたい資質や能力

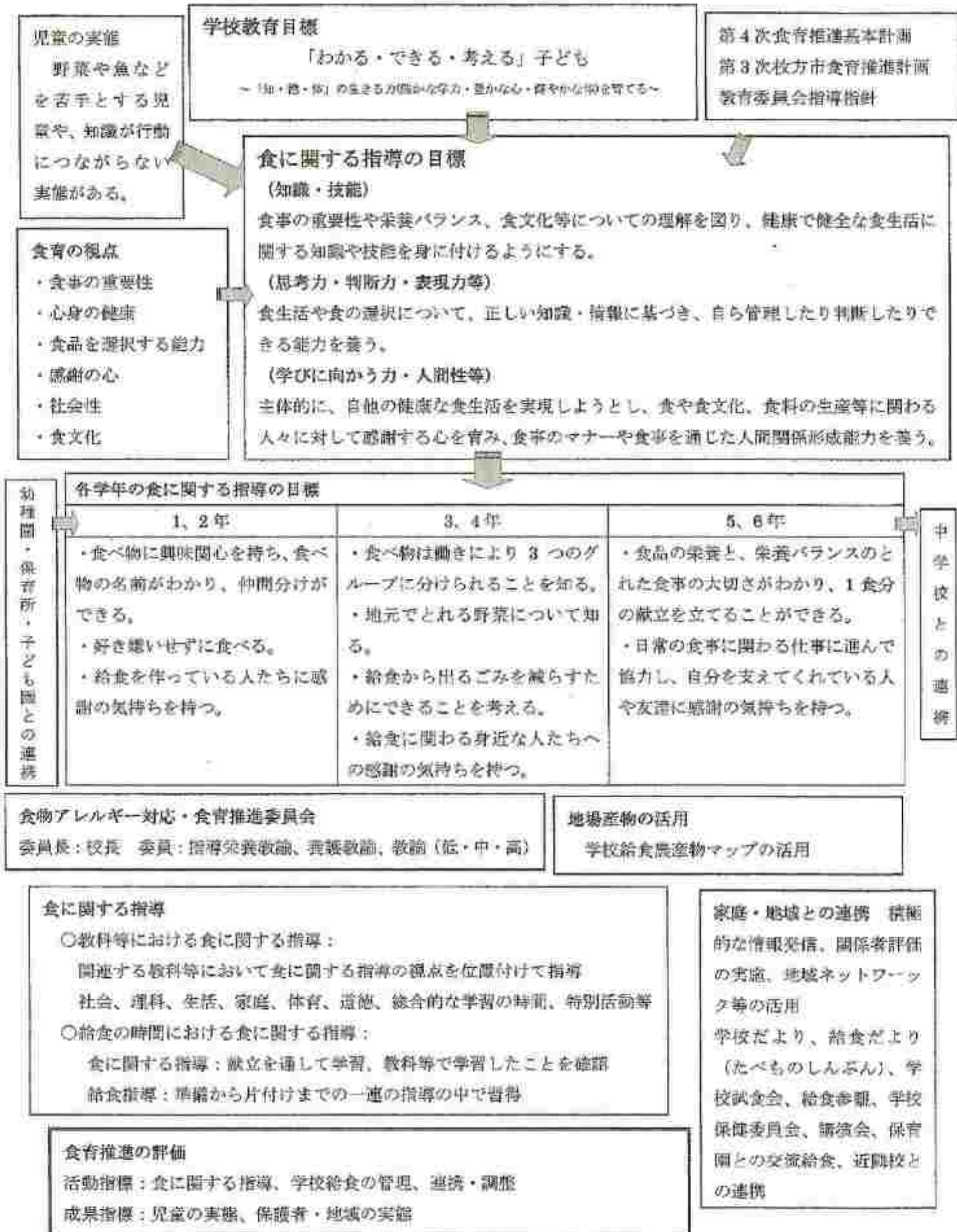
- ① 学習方法に関して（学ぶ力）  
自ら課題を設定し、各教科・領域で身につけた知識・技能を 活かし、探究的に調べ、考え、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力。
- ② 自分自身に対して（生き方）  
問題解決や探究活動に主体的に取り組むことで、自らの生き方を考えたり、見直したり、将来への夢をはぐくむ力
- ③ 他者や社会とのかかわり（学ぶ態度）  
友だちと協力し合って課題解決に当たることや、郡土・地域社会の活動や体験、様々な人との関わりに積極的に参加する態度。

学習内容及び学習活動				
テーマ	3年 (70時間)	4年 (70時間)	5年 (70時間)	6年 (70時間)
地域	地域について知ろう (25)	暮らしやすい町について調べ、考えよう。SDGs (17)	稲作について調べ、体験し、学ぼう。(18)	地域や我が国の歴史めぐりをしよう (22)
環境			環境について学ぼう (14)	
福祉	昔調べ (25)	福祉について調べ、体験しよう (22)		
情報	PC への入力や検索方法を身につけ、簡単な文章を作る (15)	PC を使い学校環境を良くする手立てを調べ、環境新聞にまとめる (11)	調べ学習 (16)	調べ学習 (8)
国際理解	国際理解 (5)		世界の人々について考えよう (9)	世界の平和について調べ、学ぼう (26)
自己発見		自分が輝き、共同し自分を見つめなおそう (20)	自分が輝き、共同し自分を見つめなおそう (13)	自分が輝き、共同し自分を見つめなおそう (14)

### 評価の観点と評価基準

- ① 評価の観点：「育てたい資質や能力」①②③に基づき評価する。
- ② 評価基準：個別の活動の観察や記録、自己評価、相互評価、ポートフォリオ等から多面的に評価する。

# 食に関する指導の全体計画



教科等	4月	5月	6月	7月	8-9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等	入学式				防災教育の日	運動会					卒業式
推進体制	実行委員会 企画推進委員会 計画推進委員会	委員会						委員会 講師実践	野田祐泉の会 折	計画案作成	
社会		健康なくらしとま ちづくり①ごみは どこへ【4年】	わたしたちの車の 様子【3年】 食糧生産を支え る人々【5年】	自然災害にそ なえるまらつく り【地域にくら す人々のぞなえ を調べよう】【4 年】	競争と人々の尋 らし【6年】	はたらく人とわ たしたちのくら しくせんたく 農家の仕事【3 年】					
理科	季節と生き物 【1年】 【4年】 植物の成長と成 長【5年】	ヒトや動物の体 【6年】	植物の育ちとつく り【3年】 ヒトのたんじょう 【5年】 植物のつくりとほ たらき【6年】	季節と生き物【2 年】 夏の生き物【4 年】 台風の気象情報 【5年】 生物どうしにつな が【6年】	植物の一生 【3年】 ヒトの体のつくり と運動 【4年】	季節と生き物 【3年】 【4年】	季節と生き物 【4年】 【5年】 【6年】		季節と生き物 【4年】 【5年】 【6年】		季節と生き物 【5年】 【6年】 自然とともに 生きる【6年】
生活	いくぞ!がっこう たんけん(給食 がでさるまで) 【1年】 きせつだより 【2年】	大きくそだて秋の 野さい【2年】	きせつだより 【2年】	大きくそだて秋 の野さい 【2年】 みのった野さい しゅうかくしよう わたしの野さいを しようかいしよう 【2年】	おきとなかよし 【1年】 きせつだより 【2年】	ひろがれまが行 【1年】 【2年】	ふゆとなかよし【1 年】 きせつだより 【2年】		これまでのわた し これからの わたし(じぶん についてしらべ よう) 【2年】		
家庭		いためてつくろう 朝食のおかず【6 年】	はじめてみようク ッキング 【5年】			食べて元気な 【5年】 くふうしようおい しい食事【6 年】					
体育		大きく正しい生活 【3年】 心の健康【5年】 病気の予防 【6年】	体の発育・発達 【4年】	健康な生活 【3年】		食べて元気に 【5年】 くふうしようおい しい食事【6 年】				病気の予防 【6年】	
道徳	イースター島に はなぜ森林がな いのか 【6年】	さとうとお 【1年】	ことばあそびうた まつくう 【1年】 サツメイセのそだ て方【2年】 理想問題につい て報告しよう 【5年】	おおきなかぶ 【1年】	サラダで元気 【1年】	くらしの中の 「和」と「洋」に ついて調べよう 【4年】 和の文化を受け つぐ一和菓子ま さぐる 【5年】					スイー 【1年】
		あわせていくつ	折つき【3番】	割合の表し方を	ごちそうパーティ	ならした式さ	What would	比べ方を考えよ	ソーラン節【5		うれしいひな

				ふえるたいくつ【1冊】 向に教ずつ立ける ときの計算を考え よう【3冊】 Welcome to Japan【6冊】 ブルーツラント【1 巻】 みかんの花さくお か【4巻】		考えよう【6巻】 たなはたさま 【1巻】 ことばでリズム【1 巻】	イーはじめよう 【1・2冊】 うたご【3巻】	歌の間隔を調べ よう【5巻】	を考えよう【5 冊】	you like? 【5外】 かほちや【2巻】 おかしのおすぎなま ほうだい 【3巻】 茶色のごびん 【4巻】 まちぼうけ 【5巻】 ふるさと【6巻】	う【5巻】 組合をクラブに 表して調べよう 【5巻】 うつしたかたち から 【1・2冊】 おしよがつ【1 年】	音】 まったり【1巻】 どらやきパワ ンド【2巻】		
選読	がっこうにはお 【1年】	げんきにそだて、ミ ニトマト 【2年】	みんなだれか に【1年】 かおかむメニ ー【2年】	エンザロ材のか まど【6年】	ぼくのおべんとう 【3年】 正月料理【5年】				ふるさと【3 年】 ポロといいし ょ【4年】					
総合		事件り【5年】												
学級 活動	朝食の約束	朝食の大切さ	夏休みの 過ごし方	災害時の食に ついて	食べ物の大切 さ									
児童会 活動		児童会発表	食育月間									読書委員会		
学校 行事	健康診断	校外学習	児童会発表 校外学習	校外学習										
給食 指導		安全で衛生的な給食(けがや事故の防止、食中毒の予防)										健康なからだをつくる給食(食品と栄養・体づくり)		
食に関する 指導	「正しい食事の マナーについ て」	「朝ごはんの大切 さについて」		「防災食につい て」	「正しい食事の マナーについ て」	「よくかんで食 べよう」								
行事食			七夕汁	月見(月見汁)	秋祭り 校方御土料理	春三						歯分(年越し のいわし) 春三(新巻)		
その他				防災食										
写の食材	たけのこ、ふさ わかさぎ、梅	えんどう豆 玉ねぎ	ピーマン、オクラ ゴーヤ	パプリカ	さんま、みかん	柿、りんご さば	香菊、はたはた ぶり						菜の花	
調理 食物		じゃがいも 玉ねぎ キャベツ	かぼちか なす	冬瓜 さつまいも	さつまいも 小松菜、チンゲ ンライ、九条ね ぎ	チンゲンサイ、 九条ねぎ、ほう れん草、玉ねぎ、 大根	九条ねぎ、ほう れん草、玉ねぎ、 コラー、大根、白 菜、キャベツ、馬 家、人参、れんご ん						大根、白菜、 キャベツ、馬 家、人参、れ んごん	
													れんごん	
														アレルギ-面談

# 給食指導

1. 目標 楽しい食事や給食活動を通じて、豊かな心を育成し 社会性を養う。
2. 給食時間 12:15 ~ 13:00 準備・食事  
13:00 ~ 13:15 後片付け \*1時までは、教室です。

## 3. 指導内容

- <準備> ①手を石けんでよく洗う。  
②清潔なナフキンを家から持ってくる。
- <給食当番> ①エプロン（長そで・白色）、帽子、マスクを正しくつける。  
\*担任の先生の身支度  
②体調の良くない児童は、当番をしない。担任は記録をつける。  
③調理場へは、そろって並んで行く。（担任の先生の引率）  
④運搬中は、絶対に走らない。安全に気をつける。（右側通行）  
⑤熱いもの、重いものは2人で運ぶ。
- <配膳> ①できるだけ配りきるようにする。  
②1個付けのものが足りなかったり、落とした時は調理場にとりにいく。  
③落とした食器・スプーンなどは、調理場で交換または、水道で洗う。  
（予備の食器は、それぞれ1枚）
- ★必ずアレルギー確認用献立表でアレルギー対応を確認・記入を食事前に行う
- <食事中> ①児童が自分で食べられる量を判断し、できるだけ全部食べるようにする。  
②席をはなれないで、落ち着いて食べる。
- <後片付け> ①パン以外は、家に持って帰らない。  
②欠席児童のパンは、パン箱に返してもよい。（他の児童が食べてもよい）  
③食べ残した自分のパンは、自分で持って帰る。  
④お盆は使用後洗い、常に清潔にしておく。または調理場で洗う。  
⑤スプーンは、同じ向きにそろえて運ぶ。  
⑥玉じゃくしとサーバーは、大おかずの食缶に入れて返す。  
⑦おかずばさみは、食器かごにかける。  
⑧しゃもじは調理場入り口のバケツに入れる（ご飯容器に入れない）。
- <返却> ①返却もそろって、並んで返しに行く。  
②牛乳は、調理場の外側の返却場所に空・残乳あり・カゴをそれぞれの場所に返す。  
③パン箱と ご飯容器は、調理場の外の返却場所に返す。  
④大食器は、カウンター下段右側に、持ってきた順につめて置く。  
小食器は、カウンター上段右側に、持ってきた順につめて置く。  
⑤小おかずは、カウンター上段中央に 数字の色別に置く。  
⑥大おかずの食缶は、カウンター下段左側に置く。  
⑦できるだけ、全員そろってから返却する。
- <その他> ①給食で出たごみは、クラスでまとめて 調理場に返す。（紙・プラ分別）  
②嘔吐物が付着した食器具等は、消毒してから、ビニール袋に入れて、保健室で処理する。



(9) <学校保健安全年計画計画>  
自己の健康を認識し、行動する子どもを育てる。

月	保健目標	保健行事	保健管理		保健教育	組織活動
			心身の管理	環境管理		
4	自分の体の様子を知らう	・二測定(身長・体重) ・尿検査・寄生虫検査・内科検診 ・心臓検診(常動心電図)・肺機能検査 ・聴力検査・神経検診・尿二次検査 ・保健委員会活動・眼科検診	・健康観察期間 ・保健調査の実施 ・健康診断の予約措置 ・欠席調べ	・保健室の整備	・保健室の役割と利用の仕方 ・検診診断 ・ほけんだより	・保健室の役割 ・年間計画立案
5	身の回りを清潔にしよう 食中毒に気をつけよう	・耳鼻科検診 ・心臓検診(12誘導心電図) ・腕力検査・保健委員会活動	・健康診断の事後措置 ・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・プール清掃	・潮風の浴槽 ・ほけんだより	・PTA総会
6	顔を大切にしよう 熱中症を予防しよう 食中毒に気をつけよう	・心臓検診(医師検診) ・水泳指導前健康調査 ・肺機能検査(レントゲン撮影) ・保健委員会活動・歯科検診	・うがい・手洗いの励行 ・水泳時の健康管理 ・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・プール水質検査 ・飲料水水質検査	・歯・口腔の健康 ・プールに入る時の注意 ・熱中症の予防 ・手洗いの指導 ・ほけんだより	・心臓検査法講習会 (教職員)
7・8	夏休みを楽しく過ごそう 規則正しい生活をしよう 食中毒に気をつけよう	・保健委員会活動	・水泳時の健康管理 ・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・大掃除 ・グニエック	・夏休み中の健康生活 ・水分の補給 ・ほけんだより	・地区通直プール
9	規則正しい生活をしよう 食中毒に気をつけよう	・二測定(身長・体重)・保健指導 ・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ ・キャンプ前の健康調査 ・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ ・マラソン前健康相談 ・修学旅行前前の健康調査		・けがの予防と応急手当 ・ほけんだより	・キャンプ前の健康に関する学習(5年)
10	目を大切にしよう	・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ		・目の健康 ・ほけんだより ・修学旅行前の健康	・修学旅行に向けて性に関する学習(6年) ・心臓検査の学習(5年)
11	姿勢を正しくしよう	・ブラッシング指導 (5年生男女体育検査) ・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ		・姿勢を正そう ・ほけんだより	・学校保健委員会
12	感染症を予防しよう。	・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・大掃除 ・教室の換気	・冬休み中の健康生活 ・ほけんだより	
1	寒さに勝てる生活をしよう	・二測定(身長・体重) ・保健指導 ・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・教室の空気調査 ・教室の換気 ・健康測定	・早寝早起き朝ご飯を かぜに負けない作り ・ほけんだより	・薬物乱用防止教室 (5,6年)
2	身の回りを清潔にしよう	・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・教室の換気	・風・ごうの管理	・薬物・喫煙防止について の学習(6年)
3	一学期を振り返り新年度 備えよう 目を大切にしよう	・保健委員会活動	・うがい・手洗いの励行 ・欠席調べ	・大掃除 ・教室の換気	・冬の健康 ・ほけんだより ・一年間の振り返り	

(8) 学校安全計画

※1単位時間単位の発着 短い時間の発着

山之上小学校

項目	4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3
月の重点	通学路を正しく歩こう	安全に歩む時間を通そう	通学路の安全な歩む	自転車等の安全な歩む	けがをしないように通い歩こう	乗り物の乗り降りには気を付けよう	教室に備えた生活ましよう	安全なまの生活ましよう	災害から命を守ろう	災害避難を守ろう	安全な生活が出来るようにしよう
道	自転車	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
生活	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
理科	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
図工	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
家庭	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
体育	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
総合学習	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
学年	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
学年	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
学年	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
児童会活動	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
主な学校行事	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
学校管理	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
学校管理	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む
学校安全に関する組織活動	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む	通学路の安全な歩む

## 防犯及び防災計画

### A. 火災について

火災予防の万全を期するとともに、万一火災が発生した場合は、全職員で一致協力して事故を最小限に食い止めるよう努力する。

#### ◎ 平常時

1. 電気、ガス等の設備状態を把握するとともにその取り扱いに細心の注意を払う。
2. 消火器、消火栓の点検と取り扱いに習熟する。
3. 各火元取締担当場所について、たえず火気の注意をする。
4. 火災予防についての教育指導を徹底する。

#### ◎ 火災発生時

1. 警報機・通報により発生場所を確認し直ちに消火活動に当たり、初期消火に努める。
2. 発生状況によって消防署、警察署、教育委員会等に緊急連絡し、協力を求める。
3. 学校長は、非常事態と判断した場合はただちに非常態勢の指示を行う。各担任は、直ちに学習活動を中止して避難経路に従って児童を避難させる。
4. 各担任は、児童の避難完了を確認し、消火活動、非常持ち出しに当たる。
5. 夜間、休日等、教職員不在の場合は施設管理人は上記2の措置を迅速に行う。

#### ◎ 火災予防ならびに消火器具

1. 火災感知器・・・各教室 1～2個
2. 火災受信機・・・職員室および施設管理人室に設置
3. 消火栓・・・15カ所
4. 消火器・・・41本
5. 防災拡声器・・・職員室に設置

### B. 地震について

1. 地震が発生した場合、担任は的確な判断を下し、机の下に隠れ、頭を防護するなど児童の安全確保に努める。
2. 学校長は事態により、可能な限り速やかに全職員に指示を行う。
3. 職員室からの放送指示により、揺れの収まりを待って運動場に児童を避難させる。
4. ガス、電気を消す等の火気に関する適切な処置を執る。

### C. 台風について

1. 台風が接近した場合は、予報に注意し、教育委員会との緊密な連携を取るとともに校長の指示により登校中止・緊急下校等の措置を執る。

#### D. 付記

1. 火災報知器および消火用具等は毎学期当初に維持点検を行う。また、毎月1回、施設・遊具の安全点検を実施する。
2. 火災、地震、台風、不審者等に関する避難訓練を実施し、児童の教育指導および教職員の対応等の組織体制をつくる。

年間計画 別途記載（学校行事関係）

毎月 安全点検実施

学年行事 3年交通安全室

学期毎に実施 避難訓練 1学期 不審者対応  
2学期 風水害対応（集団下校） 火災対応  
3学期 地震対応

#### 3. 火災非常体制は次のとおりとする（先頭記載者が主担）

1. 状況確認、非常体制の指示・・・・・・・・・・・・・校長、教頭
2. 外部通報（消防署・警察署・教育委員会）・・・・・・・・・・・・・教頭、教務
3. 児童の避難誘導・・・・・・・・・・・・・各担任  
（担任の不在学級は隣接担任および担任外教職員）
4. 保健室児童の避難誘導・・・・・・・・・・・・・養護教諭、担任外教員
5. 避難後の校内巡視・・・・・・・・・・・・・担任外教員
6. 避難人員の集計確認・・・・・・・・・・・・・事務、教頭
7. 非常持ち出し物品（指導要録、保健・事務関係）・・・・・教頭、校務員
8. 重要物品・・・・・・・・・・・・・担任外教員
9. 初期消火・・・・・・・・・・・・・教頭、男子教員
10. 消火活動協力・・・・・・・・・・・・・避難誘導後の男子担任
11. 児童保護管理・・・・・・・・・・・・・避難誘導後の女子担任
12. 救護・・・・・・・・・・・・・養護教諭、担任外教員

#### 4. 校内事故発生時の処置について

1. 学級担任は、家庭に連絡を取る。

「事故の概要、処置を説明。かかりつけもしくは指定病院を尋ねる。指定がない場合は、受け入れ確認のとれた最寄りの病院に搬送する旨を伝える。病院で治療後の対応についても確認しておく。保護者が病院に行くことが可能な場合は保険証・現金を持参願う。」

2. 養護教諭は、保護者の指定した病院もしくは最寄りの病院と連絡を取る。

「児童の状況を説明し、受け入れの可否を確認する。搬送先を担任から保護者に伝える。」

# 地震発生時の対応

## ◎ 枚方市とその周辺地域に大規模地震（建物の倒壊等を伴う規模）が発生した場合

### 1. 登校前に、大規模地震が発生した場合

#### ・自宅待機とする

- ・余震が収まり、枚方市危機管理室、枚方市教育委員会の安全判断が出された場合は、本校施設に被害がないことを確認した上で、緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「授業実施」の連絡を入れる。時刻との関係は「台風接近時の措置」に従う。

### 2. 登校時・下校時に大規模地震が発生した場合

- ・通学路上にいる児童については、保護者の引率により自宅へ引き返す。緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「出迎え要請」の連絡を入れる。（在校児童については下記による）
- ・校内にいる児童については、運動場に避難させ、待機させる。雨天時には余震が収まった段階で体育館に避難させる。
- ・緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「出迎え要請」の連絡を入れる。引き渡しは、保護者もしくは家族に限る。知人等の場合は保護者に連絡がつくまで学校待機とする。

### 3. 授業中に大規模地震が発生した場合

- ・直ちに授業を中止し、避難経路に沿って運動場に児童を避難させる。
- ・速やかに緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「出迎え要請」の連絡を入れる。保護者に連絡がつかない場合は、体育館で待機させる。

## ◎ 枚方市とその周辺地域に小規模地震（建物の倒壊等がない規模）が発生した場合

### 1. 登校前に、小規模地震が発生した場合

- ・余震が収まるまで自宅待機とする。安全に留意して登校する。

### 2. 登校時・下校時に小規模地震が発生した場合

- ・通学路上にいる児童については、ブロック塀や家屋から離れた場所でしゃがんで身を守る。余震が収まれば安全に注意しながら登校する。
- ・校内にいる児童については、運動場に避難させ、待機させる。

### 3. 授業中に小規模地震が発生した場合

- ・直ちに授業を中止し、避難経路に沿って運動場に児童を避難させる。
- ・余震が収まれば、施設内外の点検を行った後に授業を再開する。

◎地震対応については、枚方市地域防災計画に従って学校対応をすることを基本とする。

# 集中豪雨による水害発生時の対応

## ◎平成20年8月6日 午後5時頃に発生した重大事案

午後からの雨が、夕刻から集中豪雨状態となり、枚方市内のあちこちで冠水した。市役所前付近は30cmほどの冠水となり大渋滞した。

本校では、調理場前の低地が東西からの雨水の流入により一気に冠水し、体育館・玄関前が膝丈までの水深となった。調理場はあと数cmで屋内が冠水するところだった。調理場横の物置は冠水し、トイレトペーパーなどの備蓄品が水没して使い物にならなくなった。

また、職員室のベランダ下が陥没して10cm程度の穴が数カ所に発生、そこから水が地下に流れていった。同じく、校長室東側の渡り廊下部分の下が陥没し、穴があいて雨水が地下へ流出した。その行き先や規模は不明である。

小学校付近では、調理場前の道路が東西からの雨水で80cmほどの水深まで冠水した。その結果、調理場向いにある住宅4軒のガレージが冠水し、駐車していた乗用車4台が水没した。また、通りかかった乗用車が冠水部に突っ込み、浮上して電柱に激突する事案が発生した。

## ◎ 本校とその周辺地域に水害（道路冠水、側溝の溢れを伴う規模）が発生した場合

### 1. 登校前に、大規模水害が発生した場合

#### ・自宅待機とする

・集中豪雨情報等により今後の安全な状況が確認された場合は、通学路の冠水状況を点検し、安全な登校ができることを確認した上で、緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「授業実施」の連絡を入れる。時刻との関係は「台風接近時の措置」に従う。

### 2. 登校時・下校時に大規模水害が発生した場合

・通学路上にいる児童については、保護者の引率により自宅へ引き返す。緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「出迎え要請」の連絡を入れる。（在校児童については下記による）

・校内にいる児童については、教室で待機させる。

・緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「出迎え要請」の連絡を入れる。引き渡しは、保護者もしくは家族に限る。知人等の場合は保護者に連絡がつくまで学校待機とする。

### 3. 授業中に大規模水害が発生した場合

・速やかに緊急連絡網や緊急配信メール、携帯掲示板を用いて保護者に「出迎え要請」の連絡を入れる。保護者に連絡がつかない場合は、教室で待機させる。

◎対応については、台風接近時の措置、枚方市地域防災計画に従って学校対応をすることを基本とする。

# 不審者対応マニュアル①

## 1 校内で来校者を見かけた場合

見かけた教職員は、「入校証」を着用しているかチェックする。

### (1) 着用している場合

→ あいさつと声かけ

「こんにちは、どちらへご用ですか？」

→ 挙動不審の場合には、会議室か校長室まで案内する。

「ご用件をお聞きますのでこちらへお越しください。」等

⇒2へ

→ 案内を拒否した場合には、退去を求める。

「申し訳ございませんが、お引き取りいただけますか。」等と、丁寧に退去を求める。

⇒3へ

### (2) 着用していない場合

「どちらさまですか？」と、声をかける。

→ 受付まで案内し、来校者名簿へ記入の上、「入校証」を着用してもらう。

→ 受付を拒否した場合には、会議室まで案内する。

「ご用件をお聞きますのでこちらへお越しください。」等

⇒2へ

→ 案内を拒否した場合には、退去を求める。

「申し訳ございませんが、お引き取りいただけますか。」等と、丁寧に退去を求める。

⇒3へ

## 2 会議室か校長室に案内した場合

案内する途中で他の教職員へ連絡する。それができないときは、会議室・校長室に通してから連絡し、複数教職員で対応する。

「本校では、来校者の皆さんに、必ず受付で来校者名簿に記入し、入校証を着用していただくようお願いしている。」ことを説明し、ご理解いただく。

「本校へどのようなご用件で来られましたか？」と、用件を確認する。

### (1) 理解いただき、用件のある場合

来校者名簿へ記入の上、「入校証」を着用してもらい、用件のある場所まで案内する。

### (2) 理解いただけない場合・用件のない場合

退去を求める。

「申し訳ございませんが、お引き取りいただけますか。」等と、丁寧に退去を求める。

⇒3へ

## 3 退去を求めた場合

### (1) 退去した場合

退去を確認し、再度侵入しないよう監視する。

管理職から、枚方警察署 (072-845-1234)

教育委員会相談課(15-8047)

に連絡する。

### (2) 退去を拒否した場合

危害を加える恐れがないかを判断する。

→ 恐れがないと判断する場合には、再度退去するよう説得する。

→ 退去した場合 ⇒3(1)退去した場合へ

→ 退去を拒否した場合 ⇒ただちに不審者緊急対応へ

→ 恐れがあると判断する場合 ⇒ただちに不審者緊急対応へ

# 不審者対応マニュアル②

◎来校者が不審行動を取った場合は、危害の有無や行動状況に関係なく、すべて不審者と見なし、「不審者緊急対応」を行う。

※ 不審者が発見された場合、事件対策本部を発動し、原則として下記の役割分担に従って行動する。

※ 近くの教職員は直ちにその場所に駆けつける。それ以外の教職員は、下記の役割分担に従って行動する。

※ 状況に応じ、本部の指示のもと臨機応変に対応する。

役割	名前	発生時・直後の対応	中・長期的な対応
本部	校長 教頭 首席 主事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の状況把握、統括及び指揮</li> <li>・警察(110番)、消防(119番)への通報</li> <li>・校内緊急放送</li> <li>・児童への指示の決定</li> <li>・教育委員会児童生徒課への連絡及び支援要請</li> <li>・近隣学校園への連絡</li> <li>・保護者(PTA本部役員等)への連絡</li> <li>・通信方法の確保(電話・FAX・携帯電話等)</li> <li>・報道機関の対応</li> <li>・当日の下校方法の決定</li> <li>・今後の登下校方法・捜索についての決定</li> <li>・保護者説明会の準備と開催</li> <li>・保護者あて連絡文の発行</li> <li>・記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再発防止、学校再開のための統括</li> <li>・報告書の作成</li> <li>・保護者、地域住民との連携方策等の改善</li> </ul>
安全・救護	各学級担任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所・経路の設定</li> <li>・児童の誘導</li> <li>・児童の点呼</li> <li>・児童の状況把握</li> <li>・必要に応じ教護班の応援をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負傷者に対するケア</li> <li>・心のケア</li> <li>・学校医等との連携体制の改善</li> <li>・安全教育の内容、指導体制等の見直し</li> </ul>
	養護教諭、担任外教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負傷者の確認、全容把握</li> <li>・負傷者の応急手当</li> <li>・負傷者の搬出</li> <li>・救急車同乗及び搬送先からの連絡</li> <li>・負傷者搬送先の確認</li> <li>・負傷児童の保護者への連絡</li> <li>・学校医への連絡</li> </ul>	
侵入者対応	男子教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・侵入者対応</li> <li>・侵入者隔離</li> <li>・校内巡視</li> <li>・事件の情報収集、把握、整理</li> <li>・学校の安全状況の把握</li> <li>・地域の安全状況の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再発防止策の検討と危機管理マニュアルの改善</li> <li>・組織(役割分担)の見直し</li> </ul>



# 不審者緊急対応①

## ○ 対応者

- ・ 笛を吹く、大声を出す、大きな音を立てる、火災報知器を鳴らすなどして、周囲に危険を知らせる。音を聞いた職員はブザーや笛で音をリレーする。
- ・ 近くに見童がいる場合はすぐ逃げるように指示。見童と侵入者の間に入り、侵入者を見童に近づけないようにする。また侵入者の注意をそらして見童を侵入者から遠ざけるようにするなど、見童の安全を図る。
- ・ 侵入者を注視する。攻撃を仕掛けてきそうな場合は、距離をおきながら、机やイス、ほうき、消火器等防衛できる身近な道具を用い、見童や自分自身に危害を加えられないようにしながら、時間をかせぐ。
- ・ 侵入者が逃げた時は笛を鳴らしながら追いかけて、逃げる先の見童等に危険を知らせる。
- ・ 見童に危害が及ばないよう最大限の努力をするとともに自らの身を守ること。  
(対応者が負傷してしまうと、子どもを守ることができない。)
- ・ 見童が捉えられている場合は、侵入者に対して、興奮せず冷静になるように諭す。  
「子どもを離しなさい。」「落ち着きなさい。」  
侵入者に注意しつつ負傷した見童等の状況確認、応急手当を行う(救命を最優先)。

## ○ 本部(管理職や職員不在時は、気の付いた者が直ちに下記の順で行動する)

- ・ 管理職:直ちに「110番」、「119番」通報を指示。避難等の判断・決定・指示。情報の集約、通信方法の確保。
- ・ 職員1:火災報知器(職員室前にもある)や非常ベルを鳴らす
- ・ 職員2:緊急放送「工事が始まります。児童の皆さんは、〇〇付近には近寄らないようにして下さい。」
- ・ 職員3:「110番」通報。「山之上小学校です。不審者が侵入しました。(状況説明後) すぐ来て下さい。」
- ・ 職員4:「119番」通報。「山之上小学校です。不審者に児童が襲われました。(状況の説明)救急車をお願いします。」
- ・ 職員5:教育委員会へ連絡。支援と近隣学校園への連絡を要請。「山之上小学校です。不審者が侵入しました。(状況説明)警察に通報済みです。応援をお願いします。」
- ・ 職員6:PTA本部役員へ連絡、協力を要請:「学校に不審者が侵入、只今警察に通報し対応中。次の連絡までお待ちください。」

## ○ 安全確保

- ・ 避難場所・経路の決定(現場に近い状況の把握ができた者)
- ・ 教室(体育館)へ移動、各学年・組の児童の在室、負傷等状況の確認
- ・ 教室(体育館)で待機(放送等の指示を待つ)
- ・ 校外へ逃げた見童がいる可能性もあるので、情報を収集する。

## ○ 侵入者対応

- ・ 男子教員:現場へ急行する(防衛に利用できる用具を持参する)。警察が到着するまで、被害が拡大しないよう、時間をかせぐ。侵入者が逃げた場合は、追跡する(校外に逃亡した場合は追わず、再侵入を阻止する)
- ・ 担任外全員:校内を巡視して、他の不審者の有無、逃げ遅れた見童や負傷者の有無を確認し、児童の安全を確保する。

## ○ 救助救護

- ・ 現場へ急行する。負傷者の応急手当、搬送の準備(救急車手配の要請)
- ・ 安全確保の応援(教室または避難場所への誘導とその他救護)
- ・ 負傷者のリストの作成(学年、組、名前、症状、処置、搬送先、付添者等の記録)
- ・ 救急車同乗及び搬送先からの連絡(本部、保護者)  
非常袋(児童緊急連絡先名簿、関係機関連絡先一覧、テレフォンカード、小銭、筆記用具、記録用紙等を入れた黄色い袋を保健室と教頭席に常備)の携行
- ・ 負傷者搬送先及び状況の確認 教頭

## 不審者緊急対応②（避難と待機）

- 1 侵入者があった場合で、緊急に避難させる必要があるかどうか分からない場合（近くに侵入者等がおらず、状況が不明の時）は、原則として状況が判明するまで、児童を教室等で待機させ、教職員が保護する。その後、放送の指示等により避難する。
- 2 教職員が児童の近くにおり、児童に指示できる場合は次のようにする。
  - (1) 児童を教室に待機させる場合
    - 教室の窓、扉を閉める。児童の人数確認後は施錠する。
    - 教室内では児童を出入り口から遠ざけておく。
    - 教職員は防御できるような道具（イス、サスマタ等）を持ち、侵入に備える。
    - 放送の指示があれば、指示に従い避難する。
    - 避難場所は、次のいずれかの指示がある。
      - \* 体育館（原則） \* 運動場
  - (2) 児童を緊急に避難させる場合（近くに侵入者がおり、緊急に児童の安全を確保するとき）
    - 侵入者から遠い方の階段・出入り口を使い、児童を避難させる。
    - 避難場所は、職員室、運動場、体育館等。状況によって、これ以外により安全なところを選び、誘導することもあり得る。
    - 侵入者が近づいてきて危険な場合は、物を投げつけたり、防御できるような物を用いたりして、児童が避難できるような時間を稼ぐ。
    - 避難する際、隣接する教室等にも大声で危険を知らせ、避難を促す。
- 3 休憩時間等で教職員が児童の近くにはいない場合について、児童に日頃から次のように指示しておく。
  - 来校者カードをしていなかったり、危険な物を持っていたりする人を見かけたら、すぐにその人から遠くへ離れなさい。
  - できれば、先生のいそうな場所（職員室等）に逃げ、先生に知らせなさい。
  - もし、「教室に入りなさい」という放送があった場合は、すぐに教室に入ること。ただし、自分の近くに危険な物を持っている人や暴れている人がいるなどの場合は、すぐに先生のいそうなところに逃げなさい。

## 不審者緊急対応③

### 1. 学級担任が不審者を廊下で発見した(授業時間中)

- (ア) 声かけ「こんにちは、どちらさまですか？」不審者とわかれば下記に移る。
- (イ) 担任は、ブザーを鳴らすとともに鍵を持って廊下に出て教室に鍵をかけ、後ろ扉から教室に戻り、鍵をかける。
- (ウ) 児童を落ち着かせ、直近の火災報知器を鳴らす。
- (エ) 児童に鍵を開かせないように指示し、職員室に通報に走る。
- (オ) 放送の指示にしたがって児童の避難等の対応をする。

### 2. 担任以外の教職員が不審者を校内で発見した(授業時間中)

- (ア) 声かけ「こんにちは、どちらさまですか？」
- (イ) 可能な限り複数で会議室か校長室に案内し、一人が職員室通報、一人が落ち着かせる。
- (ウ) 通報を聞いた者が現場に急行、応援。
- (エ) 「不審者緊急対応」のとおり。

### 3. 教職員が不審者を校内で発見した(授業時間外)

- (ア) 声かけ「こんにちは、どちらさまですか？」
- (イ) 近くにいる児童に、そばを離れるように指示。
- (ウ) 可能な限り複数で会議室か校長室に案内し、一人が職員室通報、一人が落ち着かせる。
- (エ) 火災報知器を鳴らすとともに、校内放送で、児童に不審者のいない方へ避難指示。
- (オ) 「不審者緊急対応」のとおり。

### 4. 不審者が教室に侵入した

- (ア) 少しでも不審行動を感じたら、直ちに「出て行って下さい」と声をかける。
- (イ) 状況に応じて、児童を廊下に逃がすか、不審者と反対側に集めるか判断し、迅速に指示を与える。
- (ウ) 刃物等を持っているときには、児童椅子を構えて相手との距離を取る。
- (エ) 「不審者緊急対応」のとおり。

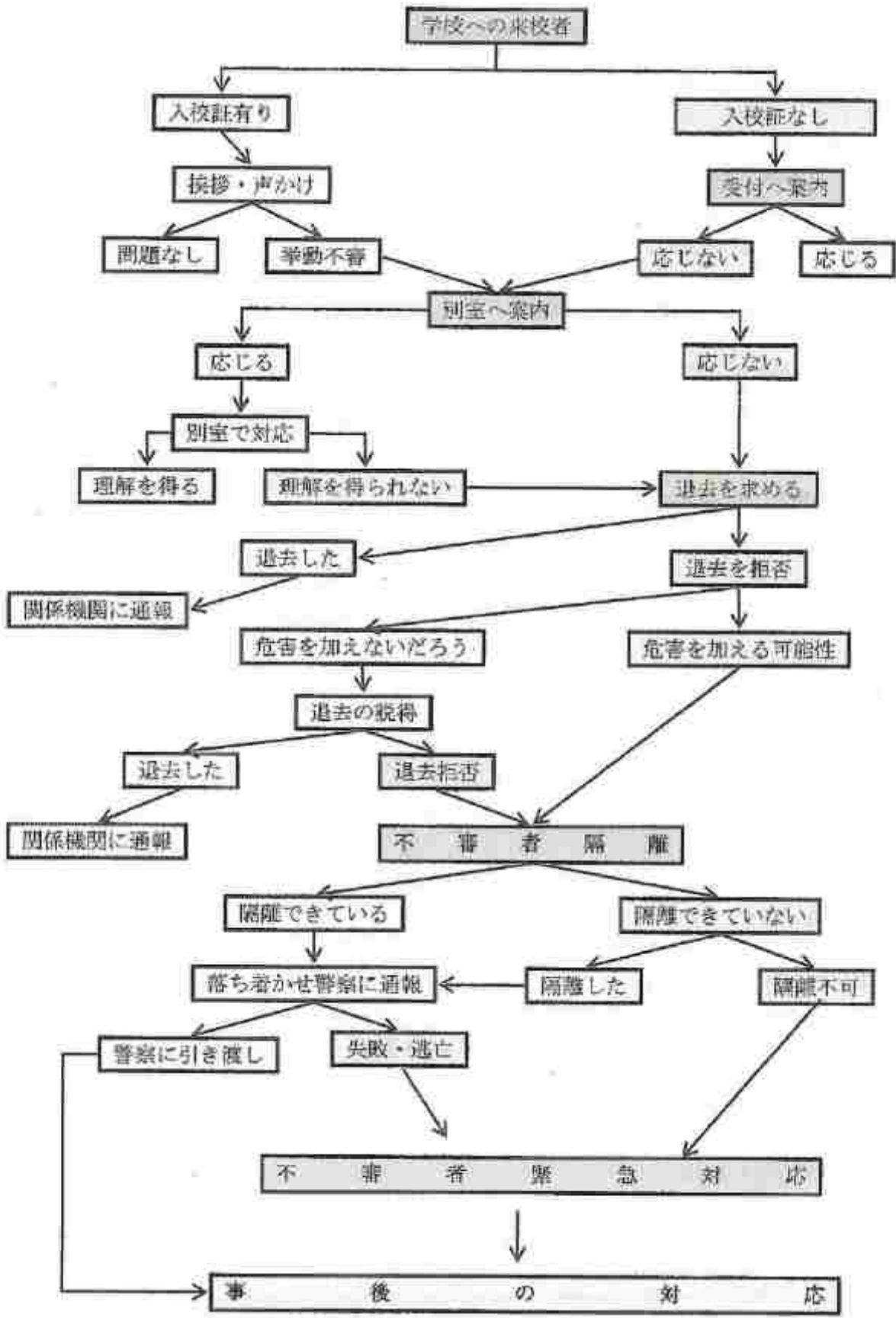
### 5. 不審者が学校周辺にいると通報があった

- ① 詳細を聞き取るとともに、警察への通報を確認し、まだであれば通報を依頼する。自動二輪車が及ぶかを判断し、危険を感じた場合は学校からも110番通報する。
- ② 同時に、教育委員会に通報し応援を依頼する。
- ③ 警官が到着するまで、児童を鍵のかかる場所で保護する。(教室・体育館)
- ④ 警官が到着するまで、校内に侵入可能な場所(運動場門、正門、裏門、中庭の道路側)に立番をする。
- ⑤ 警官の指示に従う。

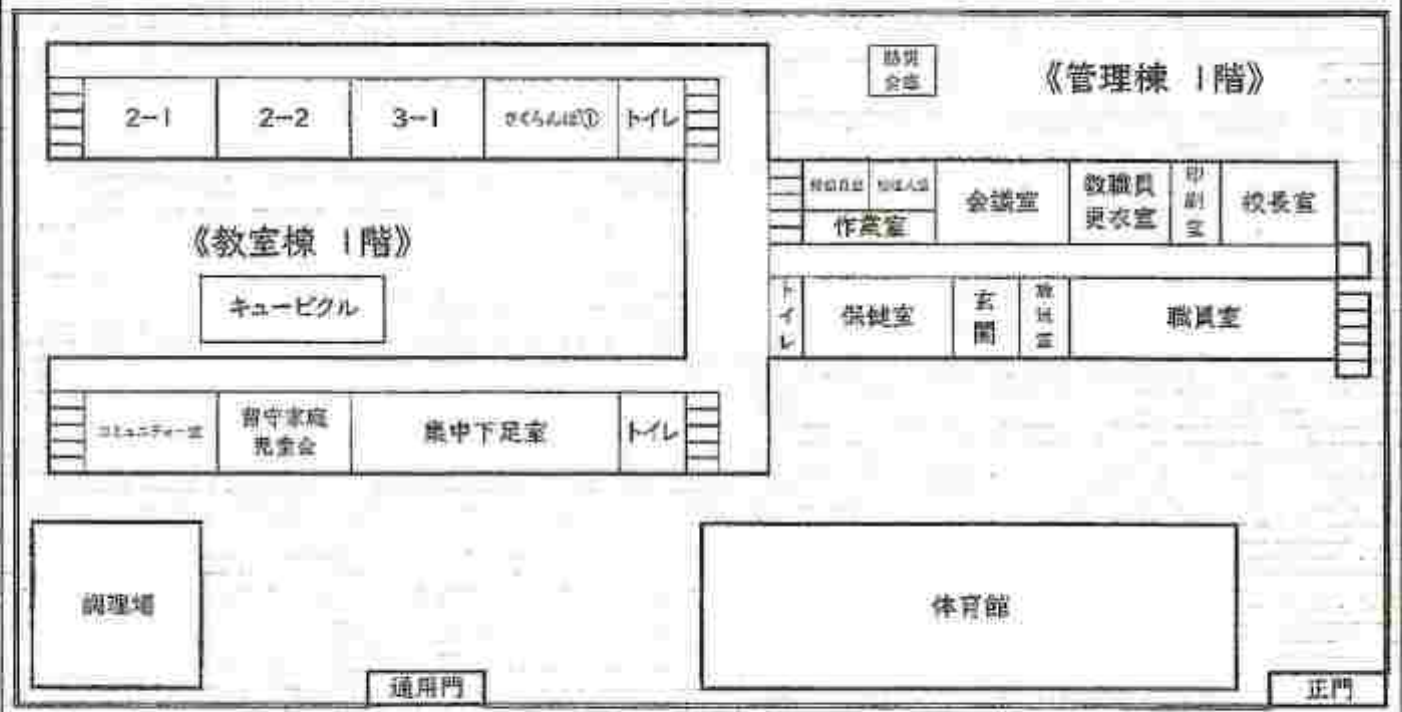
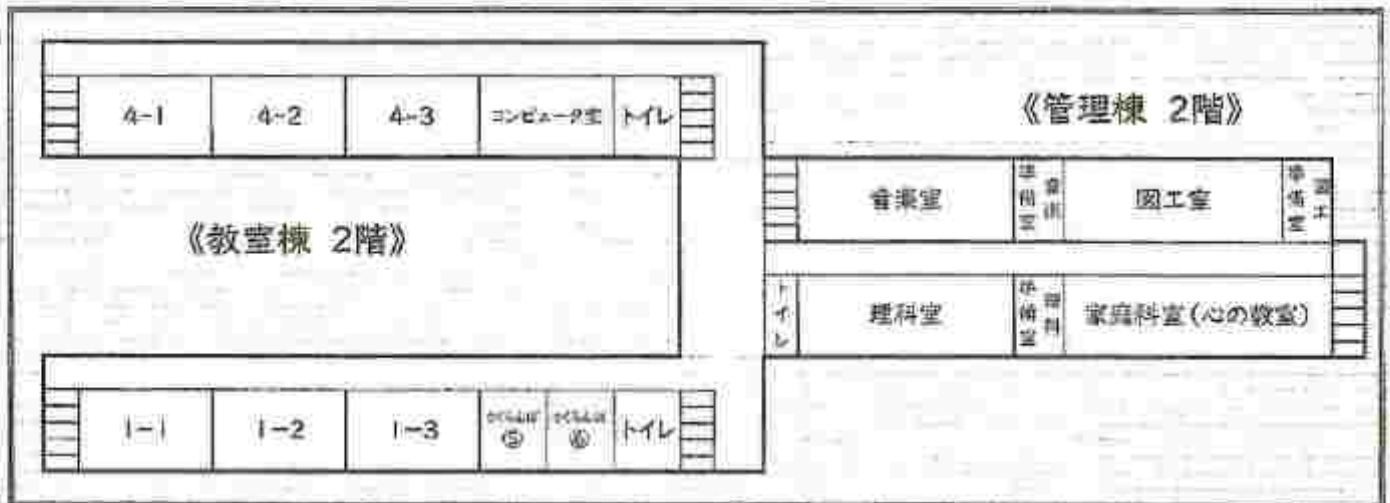
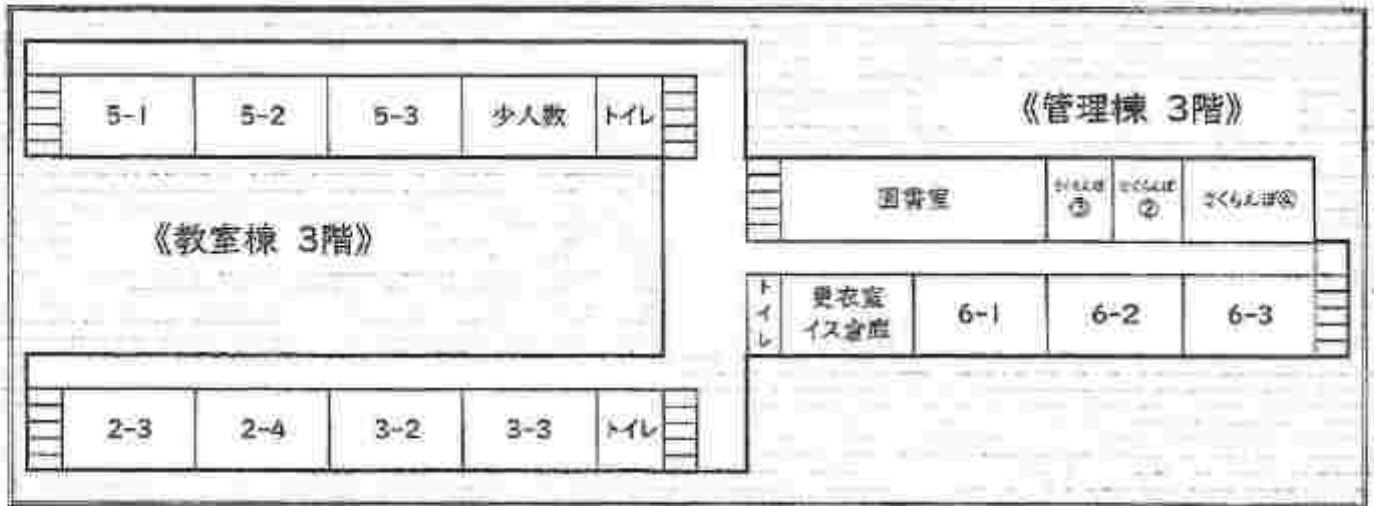
### 6. 不審者からの電話や手紙で脅迫を受けた

- ① 内容を確認し、ただちに警察と教育委員会に通報する。
- ② 警察や教育委員会の指導を受けながら、状況に応じて判断する。

# 不審者侵入時のフローチャート



令和4年度 教室配置図(校内掲示用) 枚方市立山之上小学校



# 水泳指導時の緊急対応マニュアル

## 1. 人身事故が発生した場合の基本

- ・児童の生命を最優先に、傷病者を救助し安全な場所へ移送する。
- ・適切な応急措置を行う。
- ・ただちに119番通報を行う。
- ・同時に二次災害を防ぐために遊泳者を速やかにプールサイドに避難させる。
- ・教職員へ応援要請を行う。
- ・管理職、養護教諭への連絡をする。

## 2. 消防署への通報の仕方

- ・「こちらは山之上小学校の〇〇です」
- ・「プールでおぼれる事故が発生しました(事故内容の通知)」
- ・「児童の状態は〇〇です(児童状況を報告)」
- ・「住所は山之上1丁目32番1号です、電話番号は050-7102-9068です」

## 3. 救急車が到着するまでの応急措置

- ・すみやかな心肺蘇生法の実施、AEDの使用
- ・外傷等の応急手当を施し、保温措置

## 4. 管理職の対応

- ・事実確認を行い、全体の把握をする
- ・児童や教職員への行動指示をする
- ・保護者へ連絡をとる
- ・市教委(教育相談課・学務課)へ連絡する
- ・経過を記録する

## 5. 施設に異常が発生した場合

- ・危険箇所に見童を近づけないように指示する
- ・児童を直ちに避難させ、プール授業を中止する
- ・プールの使用を中止した場合は、原因が特定され、修理が完了するまで再開しない。
- ・排水口に異常(ガードの破損、ゆるみ、詰まり等)が発見された時には、ただちに児童をプールサイドに上げ、浄化装置、ポンプを停止する。
- ・すみやかに施設課に連絡を取り修理を依頼する。

## 6. 水質等の管理

- ・学校薬剤師による定期的な水質管理を行い、日々の水質管理を徹底する
- ・水に汚濁や異物混入を発見した場合は、プール授業を中止し、学校薬剤師に点検を依頼する
  - ・ガラス片等が発見された場合は、授業を中止し、消防署に連絡した上で排水し、プール底を清掃する。
- ・昆虫、貝類等が発生した場合は、学校薬剤師に点検を依頼する
- ・清浄な水質管理のため児童の日焼け止め等の薬剤の使用は禁止する



授業科目	単元	月												単元 総時数	
		4月	5月	6月	7月	8-9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
国語	1. 国語の基礎	1. 国語の基礎	2. 国語の基礎	3. 国語の基礎	4. 国語の基礎	5. 国語の基礎	6. 国語の基礎	7. 国語の基礎	8. 国語の基礎	9. 国語の基礎	10. 国語の基礎	11. 国語の基礎	12. 国語の基礎	271	315
	2. 国語の発展	1. 国語の発展	2. 国語の発展	3. 国語の発展	4. 国語の発展	5. 国語の発展	6. 国語の発展	7. 国語の発展	8. 国語の発展	9. 国語の発展	10. 国語の発展	11. 国語の発展	12. 国語の発展		
算数	1. 算数の基礎	1. 算数の基礎	2. 算数の基礎	3. 算数の基礎	4. 算数の基礎	5. 算数の基礎	6. 算数の基礎	7. 算数の基礎	8. 算数の基礎	9. 算数の基礎	10. 算数の基礎	11. 算数の基礎	12. 算数の基礎	46	315
	2. 算数の発展	1. 算数の発展	2. 算数の発展	3. 算数の発展	4. 算数の発展	5. 算数の発展	6. 算数の発展	7. 算数の発展	8. 算数の発展	9. 算数の発展	10. 算数の発展	11. 算数の発展	12. 算数の発展		
英語	1. 英語の基礎	1. 英語の基礎	2. 英語の基礎	3. 英語の基礎	4. 英語の基礎	5. 英語の基礎	6. 英語の基礎	7. 英語の基礎	8. 英語の基礎	9. 英語の基礎	10. 英語の基礎	11. 英語の基礎	12. 英語の基礎	175	175
	2. 英語の発展	1. 英語の発展	2. 英語の発展	3. 英語の発展	4. 英語の発展	5. 英語の発展	6. 英語の発展	7. 英語の発展	8. 英語の発展	9. 英語の発展	10. 英語の発展	11. 英語の発展	12. 英語の発展		
理科	1. 理科の基礎	1. 理科の基礎	2. 理科の基礎	3. 理科の基礎	4. 理科の基礎	5. 理科の基礎	6. 理科の基礎	7. 理科の基礎	8. 理科の基礎	9. 理科の基礎	10. 理科の基礎	11. 理科の基礎	12. 理科の基礎	106	105
	2. 理科の発展	1. 理科の発展	2. 理科の発展	3. 理科の発展	4. 理科の発展	5. 理科の発展	6. 理科の発展	7. 理科の発展	8. 理科の発展	9. 理科の発展	10. 理科の発展	11. 理科の発展	12. 理科の発展		
音楽	1. 音楽の基礎	1. 音楽の基礎	2. 音楽の基礎	3. 音楽の基礎	4. 音楽の基礎	5. 音楽の基礎	6. 音楽の基礎	7. 音楽の基礎	8. 音楽の基礎	9. 音楽の基礎	10. 音楽の基礎	11. 音楽の基礎	12. 音楽の基礎	70	70
	2. 音楽の発展	1. 音楽の発展	2. 音楽の発展	3. 音楽の発展	4. 音楽の発展	5. 音楽の発展	6. 音楽の発展	7. 音楽の発展	8. 音楽の発展	9. 音楽の発展	10. 音楽の発展	11. 音楽の発展	12. 音楽の発展		
図工	1. 図工の基礎	1. 図工の基礎	2. 図工の基礎	3. 図工の基礎	4. 図工の基礎	5. 図工の基礎	6. 図工の基礎	7. 図工の基礎	8. 図工の基礎	9. 図工の基礎	10. 図工の基礎	11. 図工の基礎	12. 図工の基礎	70	70
	2. 図工の発展	1. 図工の発展	2. 図工の発展	3. 図工の発展	4. 図工の発展	5. 図工の発展	6. 図工の発展	7. 図工の発展	8. 図工の発展	9. 図工の発展	10. 図工の発展	11. 図工の発展	12. 図工の発展		
総合	1. 総合の基礎	1. 総合の基礎	2. 総合の基礎	3. 総合の基礎	4. 総合の基礎	5. 総合の基礎	6. 総合の基礎	7. 総合の基礎	8. 総合の基礎	9. 総合の基礎	10. 総合の基礎	11. 総合の基礎	12. 総合の基礎	58	103
	2. 総合の発展	1. 総合の発展	2. 総合の発展	3. 総合の発展	4. 総合の発展	5. 総合の発展	6. 総合の発展	7. 総合の発展	8. 総合の発展	9. 総合の発展	10. 総合の発展	11. 総合の発展	12. 総合の発展		
合計		別掲												35	35
特別授業		別掲												35	35



品名	品目	数量	単価	金額	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備
調 査	1. 調査費 2. 印刷費 3. 資料費 4. 雑費										5077	
目 費											346	346
社 費											70	70
目 費											165	165
領 料											90	90
生 費											60	60
領 工											60	60
備 考											56	56
備 考											34	34
備 考											4	4
合 計											35	35
備 考											35	35
備 考											70	70
備 考											35	35

別掲

別掲







# 年間計画(事務部)

# 令和5(2023)年度

分掌名(事務部) 事務	担当者(主担者に○) ○藤本		
◎ 本年度の学校目標 「わかる・できる・考える」子ども			
◎ 本年度の目標 豊かな人間力と確かな学力を持つ子どもの育成を支援する学校事務			
◎ 本年度の計画			
	学校予算	学校園徴収金	給与・旅費
4月	予算説明会 物品購入希望調査	教材選定 予算書作成、記布	異動者認定手続 旅行命令簿 25日/月
5月	予算計画書作成 備品購入	5/10、5/17振替 (校外学習 5年宿泊学習)	旅行命令簿 25日/月
6月	夏用備品納品	6/7、6/14振替 (校外学習)	期末勤勉 旅行命令簿 25日/月
7月		7/7、7/14振替 教材費支払	旅行命令簿 25日/月
8月	1期・PC 備品納品		旅行命令簿 25日/月
9月	2期備品納品	9/7、9/14 振替 校外学習	旅行命令簿 25日/月
10月		10/6、10/13振替 校外学習・6年宿泊学習	通勤手当事後確認 旅行命令簿 25日/月
11月		11/9、11/16振替 校外学習	年末調整 旅行命令簿 25日/月
12月	3期備品・一括購入納品	12/7、12/14振替 教材費支払	期末勤勉・源泉徴収票 旅行命令簿 25日/月
1月		1/12、1/19振替	昇給発令 旅行命令簿 25日/月
2月		2/9、2/16振替	旅行命令簿 25日/月
3月	予算締め 追加備品納入	3/7、3/14振替、 校外学習、教材費支払	旅行命令簿 25日/月
◎ 具体策・留意点など			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の充実や学力向上、安全な学校生活のために学校予算を効果的に執行する。</li> <li>・「枚方市立学校園徴収金事務取扱要項」に則った運営と保護者負担軽減のために学年会計担当者とともに無駄のない効率的な運用を行う。</li> <li>・給与、旅費、手当等 正確で迅速な届出を徹底し、遅れ間違いのない事務処理を行う。</li> </ul>			

# 日課表

## 通常日課

朝学習	8:30~8:45
1時間目	8:45~9:30
2時間目	9:35~10:20
20分休み	10:20~10:40
3時間目	10:40~11:25
4時間目	11:30~12:15
給食	12:15~1:00
昼休み	1:00~1:20
そらじ	1:20~1:35
移動・準備	1:35~1:40
5時間目	1:40~2:25
6時間目	2:30~3:15
下校 (最終下校)	3:30 (4:30)

## 水曜日(水曜校時日)

朝学習	8:30~8:45
1時間目	8:45~9:30
2時間目	9:35~10:20
20分休み	10:20~10:40
3時間目	10:40~11:25
4時間目	11:30~12:15
給食	12:15~1:00
昼休み	1:00~1:20
5時間目	1:20~2:05
6時間目	2:15~3:00
最終下校	3:10

毎月1回※水曜 児童集会(ビデオ放送を含む)

### 第1学年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	△	△	△	△	△

### 第2学年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	△	△	△	△	○

### 第3学年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	△	○	△	○	○

### 第4~6学年

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	○	○	△	○	○



